

SONY®



操作ガイド

NW-A1000 シリーズ / A3000 シリーズ

マニュアルについて

本機には、「クイックスタートガイド」と「操作ガイド」の2つのマニュアルが付属しています。また、SonicStageまたはCONNECT Playerをインストールすれば、それぞれのソフトウェアのヘルプを参照できます。

- 別紙の「クイックスタートガイド」は、音楽を聞くまでの準備と基本的な操作（曲の取り込みから、転送、再生まで）を説明しています。
- この「操作ガイド」は、本機の応用操作や困ったときの対処法を説明しています。
- SonicStageまたはCONNECT Playerのヘルプは、それぞれのソフトウェアの操作について詳しく説明しています（☞ 4ページ）。

ヒント

- NW-A1000シリーズは、NW-A1000とNW-A1200を表します。
- NW-A3000シリーズは、NW-A3000を表します。

本書中の説明について

この「操作ガイド」では、SonicStage CP (SonicStage Ver.4.0) またはCONNECT Playerと接続する場合を例に説明しています。

また、本書中では特に断りのない限り、「SonicStage」と表記している部分は、SonicStage CP (SonicStage Ver.4.0) を表します。

SonicStageまたはCONNECT Playerの動作環境について詳しくは、☞ 103ページをご覧ください。

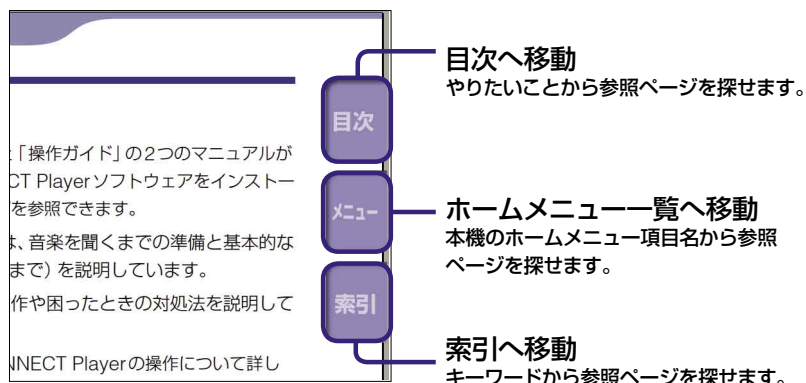
ご注意

- SonicStage CP (SonicStage Ver.4.0) より前のバージョンのSonicStageやネットジュークと接続して使用したり、SonicStage CPの設定で「インテリジェント機能を使用する」のチェックを外して使用したりすると、本機は「Simple Mode」で動作し、基本機能のみ利用できます。（☞ 72ページ）
SonicStage CPの設定について詳しくは、SonicStage CPのヘルプをご覧ください。
- お買い上げの国や地域、機種によって、付属するソフトウェアが異なる場合があります。
- 最新のSonicStageは下記のURLからダウンロードすることができます。
<http://www.sony.co.jp/support-pa/>



操作ガイドの見かた

操作ガイドのボタンを使う

右上にあるボタンから、希望のボタンをクリックすれば、「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」へ移動できます。



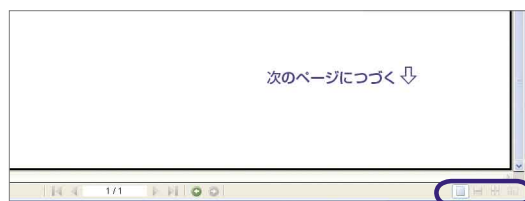
ヒント

- 「目次」や「ホームメニュー一覧」、「索引」で、各項目またはページ番号をクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- 各ページにある参照ページ表示 (2ページ) などをクリックすれば、該当ページへ移動できます。
- Adobe Readerの「編集」から「検索」を選択し、表示された検索画面にキーワードを入力すれば、キーワードから参照ページを検索できます。
- ページ移動後は、Adobe Readerの画面下にある、 や  ボタンをクリックすれば、移動する前のページや次のページへ移動できます。

次のページにつづく 

ページの表示方法を変えるには

Adobe Readerの画面下にあるボタンを使えば、見やすい表示に変えられます。



■ 単一ページ

1ページずつ表示します。
ページをスクロールすると、1ページずつ表示が切り換わります。

■ 連続ページ

ページを続けて表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

■ 連続見開きページ

2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、前後のページが続いて表示されます。

■ 単一見開きページ

2ページずつ見開き表示します。
ページをスクロールすると、2ページずつ表示が切り換わります。

SonicStageまたはCONNECT Playerのヘルプについて

SonicStageまたはCONNECT Playerを使って音楽をパソコンへ取り込む方法や本機へ転送する方法は、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

SonicStageの場合

- 1 SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageヘルプ」をクリックする。

ヘルプが表示されます。

■ ご注意

- SonicStageヘルプでは、本機を「機器・メディア」として説明しています。

CONNECT Playerの場合

- 1 CONNECT Playerを起動した状態で、「ヘルプ」から「CONNECT Playerヘルプ」をクリックする。

■ ご注意

- CONNECT Playerヘルプでは、本機を「機器」として説明しています。

目次

付属品を確認する	7
各部の名前	8
操作ボタンの使いかた	9

再生する

聞きたい曲を探す	11
曲名から探す	11
アルバムから探す	12
アーティストから探す	13
ジャンルから探す	14
☆評価から探す	15
曲の発売年から探す	16
新しく転送したアルバムから探す	17
頭文字で曲を探す (イニシャルサーチ) ...	18
プレイリストを再生する	19
よく聞く 100 曲を再生する	21
再生した日付で曲を探す	22
インテリジェントシャッフル再生する ...	23
よく聞く 100 曲を シャッフル再生する	23
よく似たアーティストの曲を シャッフル再生する (アーティストリンクシャッフル) ...	25
同じ発売年の曲を シャッフル再生する (タイムマシンシャッフル)	26
全曲をシャッフル再生する	27
再生方法 (プレイモード) を変える	28
再生画面を表示する	30
オプションメニューを表示する	31
再生中の曲から探す	33
ブックマークリストへ登録/編集する ...	34
曲を削除する	41
曲を評価する	44

LINK 機能を使う

ジャンルの近いアーティストを探す (アーティストリンク)	45
---------------------------------------	----

設定する

音質を設定する (6 バンドイコライザ) ...	48
音量制限を設定する	51
操作確認音を設定する	52
他の機器に接続する	53

設定する (つづき)

画面の表示方法を設定する	54
スクリーンセーバーを設定する	56
画面の明るさを設定する	57
本体情報を表示する	58
表示言語を設定する	59
時計を設定する	60
時計の日付表示形式を設定する	62
時計の時刻表示形式を設定する	63
お買い上げ時の設定に戻す	64
ハードディスクを初期化する	65

役に立つヒント

パソコンを使わないで充電する	66
電池を長持ちさせたいときは	68
音楽ファイル形式と ビットレートとは?	69
曲間を空けずに再生したいときは	71
ネットジュークと接続する (Simple Mode)	72
SonicStage や CONNECT Player に 保存している曲を再生する	73
曲情報は どうやって取り込まれるの? ...	74
音楽以外のデータを保存する	75
ファームウェアをアップデートする ...	76

困ったときは

故障かな? と思ったら	77
メッセージ一覧	84
SonicStage または CONNECT Player を アンインストールする	90

その他

使用上のご注意	92
廃棄するときのご注意	96
保証書とアフターサービス	99
商標について	100
主な仕様	101
別売りの周辺機器について	105
索引	106

ホームメニュー一覧

ホームメニューは、本機の初回起動時や SonicStage または CONNECT Player 接続直後に表示される最初の画面です。本機の各機能への入り口になり、再生や曲の検索、設定変更などができます。

ホームメニューは、BACK を押したままにすると表示されます。



🔧 プレイモード

- ノーマル 29
- リピート 29
- シャッフル 29
- シャッフルリピート 29
- 1曲リピート 29

🔍 イニシャルサーチ

- アーティスト 18
- アルバム 18
- 曲 18

🔄 インテリジェントシャッフル

- よく聞くシャッフル 23
- アーティストリンクシャッフル... 25
- タイムマシンシャッフル 26
- 全曲シャッフル 27

📖 よく聞く 100 曲 21

🎵 リストサーチ

- プレイリスト 19
- 全曲 11
- アルバム 12
- アーティスト 13
- ジャンル 14
- ☆評価 15
- リリース年 16
- 最近転送したアルバム 17

🕒 再生履歴 22

🛠️ 各種設定

- プレイモード 28
- サウンド設定 48
- ブックマーク基本登録先 34
- AVLS (音量制限) 51
- 操作確認音 52
- オーディオ出力 53
- 画面表示 54
- スクリーンセーバー 56
- 輝度設定 57
- 本体情報 58
- 言語設定 59
- 時計設定 60
- 設定初期化 64
- ハードディスク初期化 65

📄 プレイリスト

- ブックマーク 1 ~ 5 20, 34
- プレイリスト 20
- よく聞く 100 曲 20, 21
- 削除予定リスト 20, 41

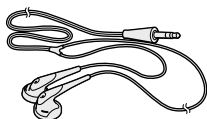
📺 再生画面へ 30

付属品を確認する

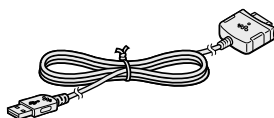
本機には次のものが付属しています。

電池（充電式電池）は、あらかじめ本機に内蔵されています。

ヘッドホン* (1)



USBケーブル (1)



ヘッドホン延長コード* (1)

ACコード (1)

ACパワーアダプター (1)

CD-ROM** (1)

–CONNECT Playerソフトウェア
または SonicStageソフトウェア***
–操作ガイド (PDF)

クイックスタートガイド (1)

保証書 (1)

ソニーご相談窓口のご案内 (1)

カスタマー登録のお願い (1)

* ソニースタイルオリジナルモデルには、下記は付属しません。

- ヘッドホン
- ヘッドホン延長コード

** 音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

*** お買い上げの国や地域、機種によって、付属するソフトウェアが異なる場合があります。

ご注意

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

シリアルナンバーについて

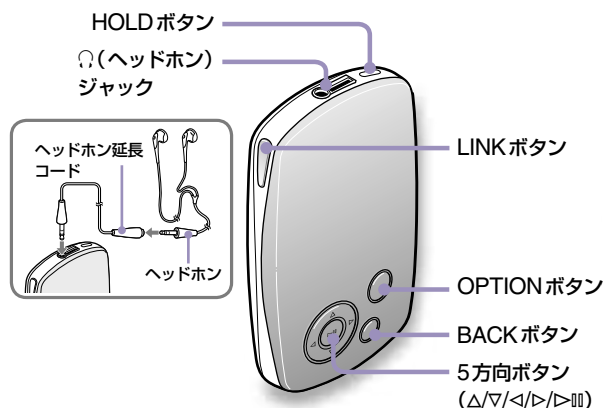
カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。

シリアルナンバーは、本体裏面のラベルに印刷されています。

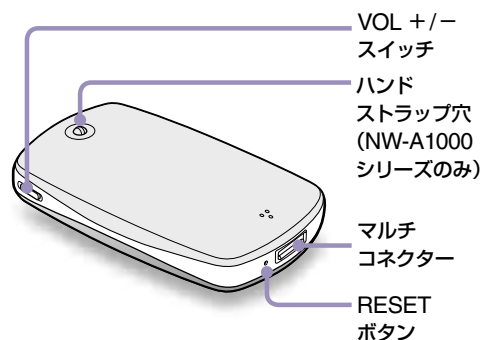
ラベルをはがさないようにしてください。

各部の名前

本体表面



本体裏面



ホールド HOLD ボタン

ボタンを押したままにすると「ホールドオン」と表示され、ボタン操作が無効になります。本機がホールド中のときに押したままにすると、「ホールドオフ」と表示され、ホールドが解除されます。電源が切れているときは、ホールド状態にできません。

⓪ (ヘッドホン) ジャック

ヘッドホンやヘッドホン延長コードは「カチッ」と音がするまで差し込みます。音がするまで差し込まないと、再生音が正常に聞こえません。

ヘッドホンジャックはラインアウトとしても使えます (☞ 53 ページ)。

リンク LINK ボタン

再生中の曲から、ジャンルの近いアーティストを探します (☞ 45 ページ)。

オプション OPTION ボタン

オプションメニューを表示します (☞ 31 ページ)。

押したままにする、またはオプションメニューから「電源を切る」を選び、▶⏏を押すと電源が切れます。

バック BACK ボタン

リスト画面の階層が上がったり (☞ 9 ページ)、前の画面に戻ります。

押したままにすると、ホームメニューが表示されます。

5方向ボタン

再生を始めたり、項目を選んだりできます (☞ 10 ページ)。

ボリューム VOL +/- スイッチ

上下にスライドさせ、音量を調節します。

ハンドストラップ穴 (NW-A1000シリーズのみ)

お手持ちの細いストラップを取り付けられます。取り付けには、ピンセットなどをお使いください。

マルチコネクター

付属のUSBケーブルを接続します (☞ 66 ページ)。

リセット RESET ボタン

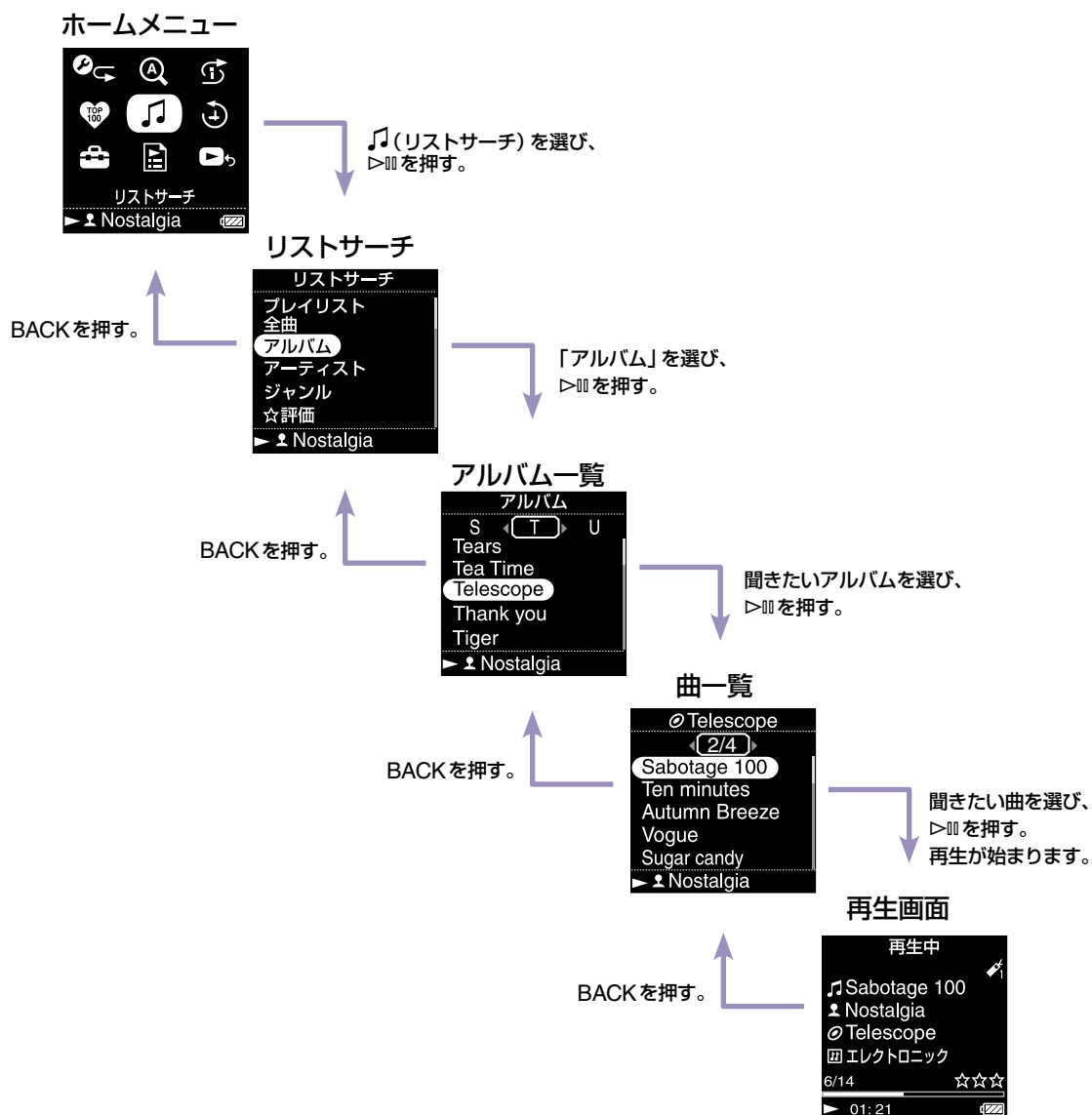
本機をリセットします (☞ 77 ページ)。

操作ボタンの使いかた

5方向ボタンとBACKボタンを使い、画面の切り換えや再生操作、設定などを行います。

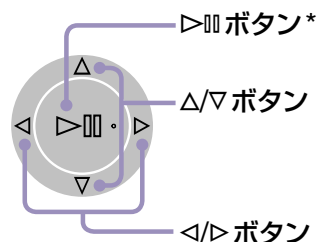
例えば、ホームメニューから「リストサーチ」-「アルバム」の順で曲を選ぶと、以下のように画面が切り換わります。

また、BACKボタンを押したままにするとホームメニューが表示されます。

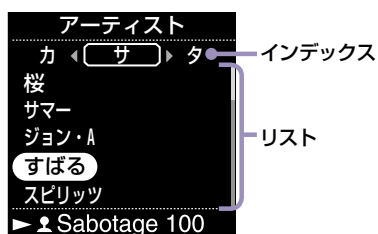


5方向ボタンは、曲を検索したり選択する「リスト画面」と、音楽を再生中に表示される「再生画面」によって動作が異なります。

* ▷⏏ボタンには、凸点（突起）がついています。操作の目印として使ってください。



リスト画面



▷⏏ボタン

選んだ項目を決定します。押したままにすると、選んだ項目の全曲を再生します。

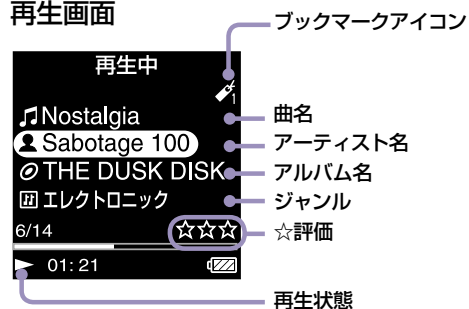
△/▽ボタン

カーソルを上下に移動します。押したままにすると、速くスクロールします。

◀/▷ボタン

インデックス表示中に押すと、左右の項目に移動し、画面が切り換わります。

再生画面



▷⏏ボタン

再生中は、表示窓の左下に▷が表示されます。再生中に押すと、再生一時停止になり、⏏が表示されます。もう一度押すと、再生が再び始まります。再生/一時停止の切り換えは、再生画面でのみ行えます。

△/▽ボタン

カーソルを表示します。カーソルを上下に移動させ、ジャンルやアルバム名を選択中に▷⏏を押すと、再生中の曲と同じジャンルのアーティスト一覧や曲一覧を表示します。

◀/▷ボタン

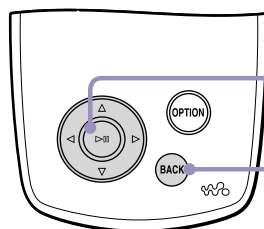
前の曲や再生中の曲、次の曲の頭出しをします。押したままにすると、再生中の曲の早送り/早戻しをします。

聞きたい曲を探す

「ジャンル」や「アーティスト」、「アルバム」、「全曲」などから聞きたい曲を探せます。



リストサーチ



5方向ボタン

BACKボタン

曲名から探す

曲一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順に並びます。曲名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順に並びます。

- 1 **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。
- 2 **△/▽/◀/▶で♪(リストサーチ)を選び、▶⏮を押す。**
リスト画面が表示されます。
- 3 **△/▽で「全曲」を選び、▶⏮を押す。**
曲一覧が表示されます。
- 4 **△/▽/◀/▶で曲を選び、▶⏮を押す。**
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

💡 ヒント

- 曲一覧で曲を選択中に▶⏮を押したままにすれば、基本登録先のブックマークリストに登録できます (📖 34ページ)。

次のページにつづく ↓

アルバムから探す

アルバム一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順に並びます。アルバム名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順に並びます。

- ① **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。
- ② **△/▽/◀/▶で♪(リストサーチ)を選び、▶⏮を押す。**
リスト画面が表示されます。
- ③ **△/▽で「アルバム」を選び、▶⏮を押す。**
アルバム一覧が表示されます。
- ④ **△/▽/◀/▶でアルバムを選び、▶⏮を押す。**
曲一覧が表示されます。
- ⑤ **△/▽/◀/▶で曲を選び、▶⏮を押す。**
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 手順③で一覧から項目を選び、▶⏮を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく 

アーティストから探す

アーティスト一覧は、日本語、アルファベット、数字、その他の順に並びます。アーティスト名が日本語の場合は、読み仮名に変換して50音順に並び、アルファベットの場合は、abc順に並びます。

- 1** **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2** **△/▽/◀/▶**で **♪(リストサーチ)** を選び、**▶|||**を押す。
リスト画面が表示されます。
- 3** **△/▽**で「**アーティスト**」を選び、**▶|||**を押す。
アーティスト一覧が表示されます。
- 4** **△/▽/◀/▶**で**アーティスト**を選び、**▶|||**を押す。
アルバム一覧が表示されます。
- 5** **△/▽/◀/▶**で**アルバム**を選び、**▶|||**を押す。
曲一覧が表示されます。
- 6** **△/▽/◀/▶**で**曲**を選び、**▶|||**を押す。
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- アーティスト名の頭文字が、「The」、「THE」、「ザ」、「ザ・」、「ジ」、「ジ・」、「ざ」、「ざ・」、「じ」、「じ・」の場合、これらの文字を省略して並び換えます。
- 手順**3**、**4**で一覧から項目を選び、**▶|||**を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく 

ジャンルから探す

- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 **△/▽/◀/▷**で **♪(リストサーチ)** を選び、**▷|||** を押す。
リスト画面が表示されます。
- 3 **△/▽**で「**ジャンル**」を選び、**▷|||**を押す。
ジャンル一覧が表示されます。
- 4 **△/▽/◀/▷**で**ジャンル**を選び、**▷|||**を押す。
アーティスト一覧が表示されます。
- 5 **△/▽/◀/▷**で**アーティスト**を選び、**▷|||**を押す。
アルバム一覧が表示されます。
- 6 **△/▽/◀/▷**で**アルバム**を選び、**▷|||**を押す。
曲一覧が表示されます。
- 7 **△/▽/◀/▷**で**曲**を選び、**▷|||**を押す。
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 手順**③**から手順**⑤**で一覧から項目を選び、**▷|||**を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく 

☆評価から探す

1～5までの星(☆)を付けて曲を評価し、付けた星の数から曲を検索できます。曲の評価について詳しくは、🔍 44ページをご覧ください。

- 1** **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2** **△/▽/◀/▷**で **♪(リストサーチ)** を選び、**▷||**を押す。
リスト画面が表示されます。
- 3** **△/▽**で「**☆評価**」を選び、**▷||**を押す。
評価一覧が表示されます。
- 4** **△/▽**で**評価(☆1～5で表示)**を選び、**▷||**を押す。
曲一覧が表示されます。
- 5** **△/▽/◀/▷**で**曲を選び**、**▷||**を押す。
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 「☆評価」には、縁取りの星(☆)で表示される自動設定と、塗りつぶした星(★)で表示される手動設定があります。
- 手順**3**で一覧から項目を選び、**▷||**を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく 

曲の発売年から探す

- ① **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- ② **△/▽/◀/▶**で **♪(リストサーチ)** を選び、**▶⏮**を押す。
リスト画面が表示されます。
- ③ **△/▽**で「**リリース年**」を選び、**▶⏮**を押す。
発売年の一覧が表示されます。
- ④ **△/▽**で**発売年**を選び、**▶⏮**を押す。
アーティスト一覧が表示されます。
- ⑤ **△/▽/◀/▶**で**アーティスト**を選び、**▶⏮**を押す。
曲一覧が表示されます。
- ⑥ **△/▽/◀/▶**で**曲**を選び、**▶⏮**を押す。
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 手順③、④で一覧から項目を選び、**▶⏮**を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく ↓

新しく転送したアルバムから探す

最近3回のSonicStageまたはCONNECT Player 接続時に転送されたアルバムから検索できます。

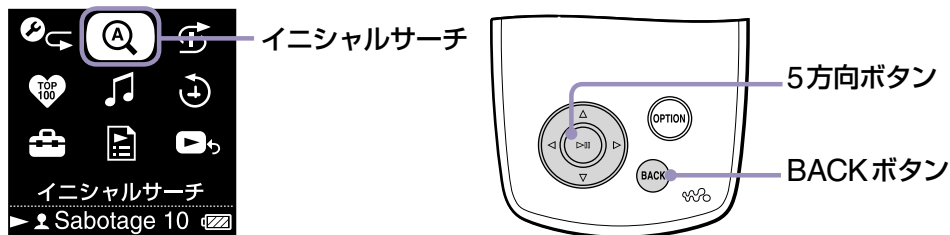
- 1 **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。
- 2 **△/▽/◀/▶で♪(リストサーチ)を選び、▶⏏を押す。**
リスト画面が表示されます。
- 3 **△/▽で「最近転送したアルバム」を選び、▶⏏を押す。**
転送回選択画面が表示されます。
- 4 **△/▽で転送回を選び、▶⏏を押す。**
選んだ転送回に転送されたアルバムの一覧が表示されます。
- 5 **△/▽/◀/▶でアルバムを選び、▶⏏を押す。**
曲一覧が表示されます。
- 6 **△/▽/◀/▶で曲を選び、▶⏏を押す。**
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 手順③、④で一覧から項目を選び、▶⏏を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

頭文字で曲を探す（イニシャルサーチ）

アーティスト名、アルバム名、または曲名の頭文字（イニシャル）で曲を検索できます。日本語表示の場合は、読み仮名で検索できます。



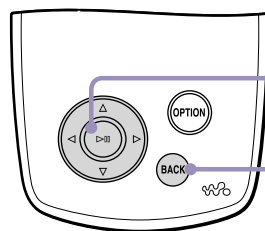
- 1 **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。
- 2 **△/▽/◀/▶で **A**（イニシャルサーチ）を選び、▶||を押す。**
文字選択画面が表示されます。
- 3 **◀/▶で「カナ」または「英数字」を選び、▽を押してカーソルを文字一覧へ移動させる。**
- 4 **△/▽/◀/▶で頭文字を選び、▶||を押す。**
検索対象を選ぶ画面が表示されます。
「曲」は曲名、「アーティスト」はアーティスト名、「アルバム」はアルバム名で検索します。
- 5 **△/▽で検索対象を選び、▶||を押す。**
「サーチ中」と表示され、検索が終わると、検索結果画面が表示されます。
「アーティスト」または「アルバム」を選んだ場合は、一覧から更に細かく曲を検索できます。
アーティストやアルバムを選択中に、▶||を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

プレイリストを再生する

SonicStageまたはCONNECT Playerで作成したプレイリストや、本機で作成したプレイリスト（ブックマークリスト）などを再生できます。





プレイリスト



5方向ボタン

BACKボタン

- 1** BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2** $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で  (プレイリスト) を選び、 \triangleright を押す。
プレイリスト一覧が表示されます。
プレイリストの種類について詳しくは、 20ページをご覧ください。
- 3** $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ でプレイリストを選び、 \triangleright を押す。
曲一覧が表示されます。
- 4** $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で曲を選び、 \triangleright を押す。
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 「リストサーチ」からも「プレイリスト」を選べます。
- 手順 **2** で一覧から項目を選び、 \triangleright を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

次のページにつづく 

プレイリスト一覧

プレイリストには以下の5種類があります。

プレイリストの種類	説明
ブックマーク1～5 ¹⁾	本機で作成するプレイリスト(「ブックマークリスト」と呼びます)です。5つのブックマークリストがあります。ブックマークリスト再生中は再生画面で、再生中のブックマークのアイコンに下線が表示されます。ブックマークリストへの曲の登録/編集については、🔍 34ページをご覧ください。
プレイリスト ¹⁾	SonicStageまたはCONNECT Playerで作成するプレイリストです。プレイリストの作成については、それぞれのヘルプをご覧ください。
よく聞く100曲	SonicStageまたはCONNECT Playerが自動で作成するプレイリストです。SonicStageまたはCONNECT Playerに接続したときに、再生回数の多い100曲が更新され、再生回数の多い順に表示します。
削除予定リスト	削除予定の曲を登録するプレイリストです。リストに登録すると、次回SonicStageまたはCONNECT Playerに接続したときに、本機から削除されます。削除予定リストへの曲の登録については、🔍 41ページをご覧ください。

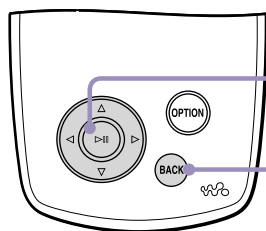
1) CONNECT Playerで名前を変更すると、変更した名前で表示されます。

よく聞く100曲を再生する

再生回数の多い100曲を再生できます。





よく聞く100曲



5方向ボタン

BACKボタン

- 1** BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2** $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で **TOP 100** (よく聞く100曲) を選び、 \triangleright  を押す。
再生回数の多い100曲が一覧表示されます。
- 3** $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で再生を始めた曲を選び、 \triangleright  を押す。
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

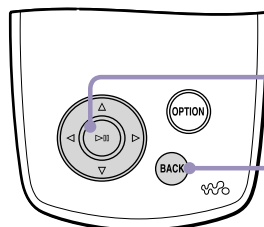
- よく聞く100曲は、SonicStageまたはCONNECT Playerに接続したときに、それまでの再生回数をもとに更新されます。
- 再生した曲が100曲未満のとき、または本機に転送された曲数が100曲未満のときは、その曲数で再生されます。

再生した日付で曲を探す

再生した日付から曲を選んで再生できます。



再生履歴



5方向ボタン

BACKボタン

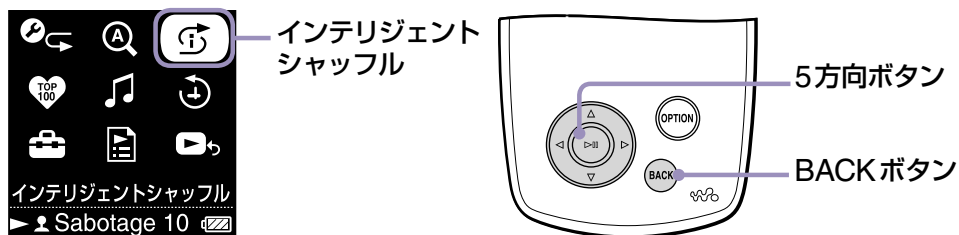
- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ で ⌂ （再生履歴）を選び、 $\triangleright\text{⏮}$ を押す。
最近の再生日から順に表示されます。
- 3 $\triangleleft/\triangleright$ で年月、 Δ/∇ で日付を選び、 $\triangleright\text{⏮}$ を押す。
選んだ日付に再生された曲が、一覧表示されます。
- 4 $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ で曲を選び、 $\triangleright\text{⏮}$ を押す。
選んだ曲から順に再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ヒント

- 本機で曲を15秒以上再生後、SonicStageまたはCONNECT Playerに接続することにより、その時点までに再生した曲が再生履歴の曲一覧に反映されます。
- 再生時間が15秒未満の曲は、再生履歴の曲一覧に反映されません。
- 手順③で一覧から項目を選び、 $\triangleright\text{⏮}$ を押したままにすると、項目に含まれる全曲を再生できます。

インテリジェントシャッフル再生する

「よく聞くシャッフル」、「アーティストリンクシャッフル」、「タイムマシンシャッフル」、「全曲シャッフル」の4種類のシャッフルモードから選び、曲を順不同に再生（シャッフル再生）できます。



よく聞く100曲をシャッフル再生する

再生回数の多い100曲を順不同に再生できます。

- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で ♫ （インテリジェントシャッフル）を選び、 $\triangleright\text{|||}$ を押す。
シャッフル再生選択画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「よく聞くシャッフル」を選び、 $\triangleright\text{|||}$ を押す。
「よく聞く100曲をシャッフル再生します。」と表示され、再生が始まります。
再生中の場合は、インテリジェントシャッフル再生が始まるメッセージを表示後、曲の再生が終わり、インテリジェントシャッフル再生で選ばれた曲の再生が始まります。

次のページにつづく \downarrow

ヒント

- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
 - 「リストサーチ」から曲を選んで再生する。
 - アーティストリンクを始める。
 - プレイモードを変更する。
- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。
- よく聞く 100 曲は、SonicStage または CONNECT Player に接続したときに、それまでの再生回数をもとに更新されます。
- 再生した曲が 100 曲未満のとき、または本機に転送された曲数が 100 曲未満のときは、その曲数で再生されます。

ご注意

- シャッフル再生中に◀を押すと、シャッフル再生した曲を 20 曲まで戻れます。ただし、◀を 2 回以上押して再生中の曲の前やその前の曲に戻り、そのまま再生を続けるか、早送り、または▶を押すと、新しくリスト内の曲をランダムに選び直します。

次のページにつづく 

よく似たアーティストの曲をシャッフル再生する (アーティストリンクシャッフル)

選択したアーティストと近いジャンルのアーティストを検索し(アーティストリンク)、検索したアーティストの曲を順不同に再生できます。

- 1 BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ で ♫ (インテリジェントシャッフル) を選び、 $\triangleright\text{⏮}$ を押す。**
シャッフル再生選択画面が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「アーティストリンクシャッフル」を選び、 $\triangleright\text{⏮}$ を押す。**
アーティスト一覧が表示されます。
- 4 $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ でアーティストを選び、 $\triangleright\text{⏮}$ を押す。**
「○○○ (選んだアーティスト名) と近いジャンルのアーティストの曲をシャッフル再生します。」などと表示され、再生が始まります。
再生中の場合は、インテリジェントシャッフル再生が始まるメッセージを表示後、曲の再生が終わり、インテリジェントシャッフル再生で選ばれた曲の再生が始まります。

ヒント

- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
 - 「リストサーチ」から曲を選んで再生する。
 - アーティストリンクを始める。
 - プレイモードを変更する。
- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。
- 選択したアーティストと近いジャンルのアーティストや対象曲が少ない場合は、自動的に検索範囲を拡大して検索します。
- 選択したアーティストに近いジャンルのアーティストがないときは、「○○ (選んだアーティスト名) の曲をシャッフル再生します。」と表示され、選択したアーティストの全曲をシャッフル再生します。

ご注意

- 画面に「Artist Link Shuffle」が表示されているときは、本機の操作はできません。

同じ発売年の曲をシャッフル再生する(タイムマシンシャッフル)

発売年をランダムに選び、その年に発売された全曲を順不同に再生できません。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ で Ⓢ (インテリジェントシャッフル) を選び、 \triangleright を押す。

シャッフル再生選択画面が表示されます。

3 Δ/∇ で「タイムマシンシャッフル」を選び、 \triangleright を押す。

発売年がランダムに選択され、「2005年にリリースされた曲をシャッフル再生します。」などと表示され、再生が始まります。

再生中の場合は、インテリジェントシャッフル再生が始まるメッセージを表示後、曲の再生が終わり、インテリジェントシャッフル再生で選ばれた曲の再生が始まります。

ヒント

- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
 - 「リストサーチ」から曲を選んで再生する。
 - アーティストリンクを始める。
 - プレイモードを変更する。
- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。

ご注意

- 発売年を選択中は、本機の操作はできません。
- 本機に保存されている全曲の発売年が不明な場合は、全曲シャッフル再生します。
- 本機に保存されている全曲の発売年が1つの年だけの場合、または1つの年以外の曲の発売年が不明な場合は、発売年選択中のアニメーションは表示されず、「2005年にリリースされた曲をシャッフル再生します。」などと表示され、再生が始まります。
- シャッフル再生中に \triangleleft を押すと、シャッフル再生した曲を20曲まで戻れます。ただし、 \triangleleft を2回以上押して再生中の曲の前やその前の曲に戻り、そのまま再生を続けるか、早送り、または \triangleright を押すと、新しくリスト内の曲をランダムに選び直します。

次のページにつづく 

全曲をシャッフル再生する

本機内の全曲を順不同に再生します。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ で Ⓜ (インテリジェントシャッフル) を選び、 \triangleright を押す。

シャッフル再生選択画面が表示されます。

3 Δ/∇ で「全曲シャッフル」を選び、 \triangleright を押す。

「全曲をシャッフル再生します。」と表示され、再生が始まります。

再生中の場合は、インテリジェントシャッフル再生が始まるメッセージを表示後、曲の再生が終わり、インテリジェントシャッフル再生で選ばれた曲の再生が始まります。

ヒント

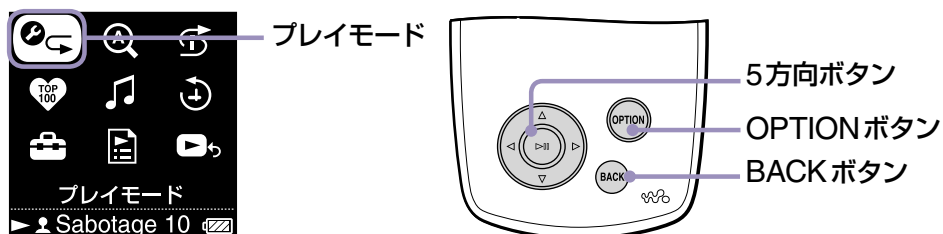
- インテリジェントシャッフル再生は、以下の操作で解除されます。
 - 「リストサーチ」から曲を選んで再生する。
 - アーティストリンクを始める。
 - プレイモードを変更する。
- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。

で注意

- シャッフル再生中に \triangleleft を押すと、シャッフル再生した曲を20曲まで戻れます。ただし、 \triangleleft を2回以上押して再生中の曲の前やその前の曲に戻り、そのまま再生を続けるか、早送り、または \triangleright を押すと、新しくリスト内の曲をランダムに選び直します。

再生方法(プレイモード)を変える

曲を順不同に聞いたり、選んだ再生方法で繰り返し再生できます。



1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で Ⓞ (プレイモード) を選び、 $\triangleright\parallel$ を押す。

プレイモードモード一覧が表示されます。

再生中にOPTIONを押し、表示されたオプションメニューから「プレイモード」を選んでも、プレイモードモード一覧を表示できます。

3 Δ/∇ でプレイモード (29ページ) を選び、 $\triangleright\parallel$ を押す。

ホームメニューから選んだ場合は、ホームメニューへ戻ります。

曲の再生中に選んだ場合は、再生画面に戻ります。

次のページにつづく \downarrow

プレイモード一覧

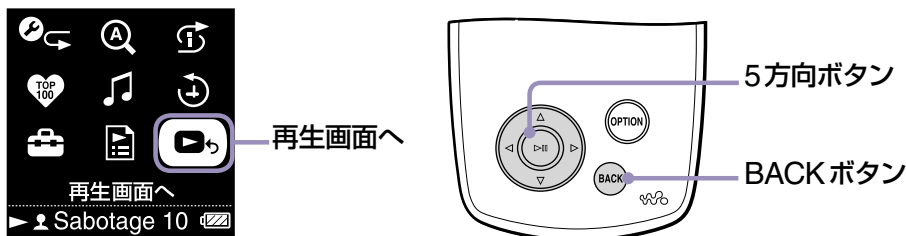
モードの種類/アイコン	説明
ノーマル/表示なし	選んだ曲以降の全曲を、曲一覧の順に1回再生し、一時停止します。
リピート/↺	再生中の(または曲一覧で選んだ)曲を再生後、その曲を含むアルバムやアーティストなど、再生を始めた項目の曲を順に繰り返し再生します。
シャッフル/SHUF	再生中の(または曲一覧で選んだ)曲を再生後、その曲を含むアルバムやアーティストなど、再生を始めた項目の曲を順不同に再生します。
シャッフルリピート/↺SHUF	再生中の(または曲一覧で選んだ)曲を再生後、その曲を含むアルバムやアーティストなど、再生を始めた項目の曲を順不同に繰り返し再生します。
1曲リピート/↺1	再生中の(または曲一覧で選んだ)曲を、繰り返し再生します。

ご注意

- インテリジェントシャッフル再生を始めると、プレイモードは「シャッフル」または「シャッフルリピート」に切り換わります。
- シャッフル再生中に◀を押すと、シャッフル再生した曲を20曲まで戻れます。ただし、◀を2回以上押して再生中の曲の前やその前の曲に戻り、そのまま再生を続けるか、早送り、または▶を押すと、新しくリスト内の曲をランダムに選び直します。

再生画面を表示する

再生画面を表示すれば、再生中の曲のアーティスト名やアルバム名など、曲情報が確認できます。



- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 **△/▽/◀/▶**で **再生画面へ**を選び、**▶||**を押す。
現在再生されている曲情報が表示されます。

💡 ヒント

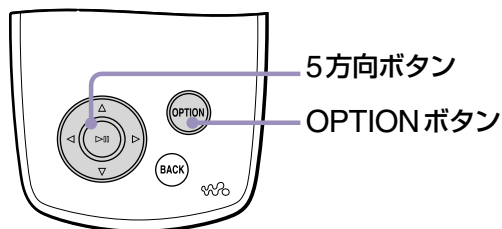
- オプションメニューから「曲情報の表示」を選択すれば、発売年や再生時間、音楽ファイル形式、ビットレート*などの曲の詳細情報を表示できます。
* ビットレートが可変ビットレートの場合は、「VBR」と表示されます。

📌 ご注意

- VBR再生時は、再生時間の表示や再生位置を表示するバーが安定せず、誤差が生じる場合があります。

オプションメニューを表示する

オプションメニューを表示すれば、再生中の曲の編集や、いろいろな設定ができます。



1 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

2 Δ/▽で項目を選び、▷||を押し。

選んだ項目の設定画面が表示されたり、選んだ項目が実行されます。
オプションメニューの項目は、📖 32ページをご覧ください。

次のページにつづく ↓

💡 ヒント

- OPTIONを押すと、オプションメニューが表示されます。
オプションメニューには、下記の項目があります。

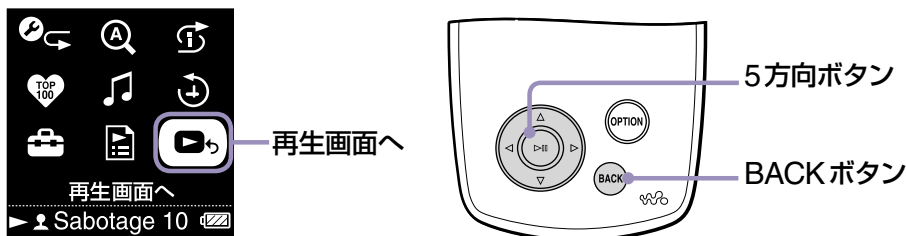
項目	説明 / 参照ページ
このアルバムでサーチ	📖 33ページをご覧ください。
このアーティストでサーチ	📖 33ページをご覧ください。
このジャンルでサーチ	📖 33ページをご覧ください。
ブックマークに登録	📖 34ページをご覧ください。
ブックマークを選択	📖 35ページをご覧ください。
ブックマークを解除	📖 37ページをご覧ください。
ブックマークを全解除	📖 38ページをご覧ください。
削除予定に登録	📖 41ページをご覧ください。
削除予定を解除	📖 42ページをご覧ください。
削除予定を全解除	📖 43ページをご覧ください。
プレイモード	📖 28ページをご覧ください。
☆評価	📖 44ページをご覧ください。
曲情報の表示	📖 30ページをご覧ください。
電源を切る	本機の電源を切ります。
再生画面へ	再生画面を表示します。
これを再生	再生を開始します。
曲の並べ替え	📖 39ページをご覧ください。
ブックマークアイコン 変更	📖 40ページをご覧ください。
ホームメニューへ	ホームメニューを表示します。
時計	時計を表示します。
カレンダー	カレンダーを表示します。
サウンド設定	📖 48ページをご覧ください。

📌 ご注意

- 各種設定画面など、一部の画面ではオプションメニューを表示できません。
- オプションメニューの項目は、オプションメニューを表示した画面によって項目が異なります。

再生中の曲から探す

再生画面から、再生中の曲情報で、曲やアルバム、アーティストの検索ができます。



1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で **再生画面へ** を選び、 \triangleright を押す。

現在再生されている曲情報が表示されます。

3 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

4 Δ/∇ で項目を選び、 \triangleright を押す。

「このアルバムでサーチ」を選ぶと、再生中のアルバムの曲一覧が表示されます。

「このアーティストでサーチ」を選ぶと、再生中のアーティストのアルバム一覧が表示されます。

「このジャンルでサーチ」を選ぶと、再生中のアーティストが属するジャンルのアーティスト一覧が表示されます。

5 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で曲を選び、 \triangleright を押す。

選んだ曲から再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

ブックマークリストへ登録/編集する

好きな曲をブックマークリストに登録できます。ブックマークリストは5つあり、1つのブックマークリストにつき100曲まで登録できます。ブックマークリストの再生方法について詳しくは、🔍 19ページをご覧ください。

基本登録先のブックマークリストに登録する

再生画面を表示中に▶🎵を押したままにするだけで、基本登録先に設定したブックマークリストへ登録できます。基本登録先のブックマークリストは変更できます (🔍 36ページ)。

1 ブックマークリストに登録したい曲の再生画面を表示し、▶🎵を押したままにする。

「ブックマーク1に登録しました。」などと表示され、再生画面にブックマークのアイコン (🔖) が点灯します。

ヒント

- お買い上げ時は、基本登録先のブックマークリストは、「ブックマーク1」に設定されています。
- 曲一覧でリストに登録したい曲を選択中に▶🎵を押したままにすれば、基本登録先のブックマークリストに登録できます。
- ブックマークリストから再生を始め、▶🎵を押したままにすれば、再生中の曲をブックマークリストから解除できます。

📌 ご注意

- すでにブックマークリストに登録されている曲は、同じブックマークリストに再登録できません。
- 再生対象のブックマークリスト (曲一覧でいずれかの曲に▶🎵が付いている場合) に曲は登録できません。

次のページにつづく ↓

ブックマークリストを選んで登録する

登録先のブックマークリストを、「ブックマーク1～5」から選んで登録できます。

1 ブックマークリストに登録したい曲の再生画面を表示する。

2 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

3 △/▽で「ブックマークを選択」を選び、▷⏏を押す。

ブックマークリスト選択画面が表示されます。

4 △/▽で曲に登録したいブックマークリストを選び、▷⏏を押す。

「ブックマーク1に登録しました。」などと表示され、再生中にブックマークのアイコン(🔖)が点灯します。

ヒント


- 複数の曲をブックマークリストへ登録するときは、上記手順の**1**～**4**を繰り返してください。
- 曲一覧で、ブックマークリストに登録したい曲を選択中にOPTIONを押し、オプションメニューを表示させ、「ブックマークを選択」を選んでもブックマークリストへ登録できます。
- 曲一覧で、削除したい曲を選択中にOPTIONを押すと、オプションメニューが表示されます。オプションメニューで「削除予定に登録」を選べば、削除予定リストに登録できます。
- 本機で作成したブックマークリストは、SonicStageまたはCONNECT Playerで見ることができます。また、CONNECT Playerでは、ブックマークリストを編集することもできます。

ご注意

- すでにブックマークリストに登録されている曲は、同じブックマークリストに再登録できません。
- 再生対象のブックマークリスト(曲一覧でいずれかの曲に▶が付いている場合)に曲は登録できません。

次のページにつづく ↓

基本登録先のブックマークリストを変える

- 1 BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で  (各種設定) を選び、 \triangleright を押す。
- 3 Δ/∇ で「ブックマーク基本登録先」を選び、 \triangleright を押す。
ブックマークリスト一覧が表示されます。
- 4 Δ/∇ でブックマークリストを選び、 \triangleright を押す。
選んだブックマークリストが、基本登録先のブックマークリストに設定されます。

ヒント

- お買い上げ時は、基本登録先のブックマークリストは、「ブックマーク1」に設定されています。

[次のページにつづく](#) 

ブックマークリスト内の曲を解除する

1 ブックマークリストから解除したい曲の再生画面を表示する。

2 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

3 Δ/▽で「ブックマークを解除」を選び、▷⏏を押す。

ブックマークリスト選択画面が表示されます。

4 Δ/▽でブックマークリストを選び、▷⏏を押す。

「ブックマーク1から解除しました。」などと表示され、ブックマークリストから解除されます。最後の曲を削除した場合は、プレイリスト一覧画面を表示します。

ヒント


- ブックマークリストから再生を始め、▷⏏を押したままにすれば、再生中の曲をブックマークリストから解除できます。

で注意

- 複数のブックマークリストに登録されている曲を解除した場合、手順3で選んだブックマークリストからのみ解除されます。


次のページにつづく ↓

ブックマークリスト内の全曲を解除する


- 1** BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2** △/▽/◀/▶で  (プレイリスト) を選び、▶|| を押す。
プレイリスト一覧が表示されます。
- 3** △/▽/◀/▶で全曲を解除したいブックマークリストを選び、▶|| を押す。
曲一覧が表示されます。
- 4** いずれかの曲を選び、▶|| を押す。
再生が始まり、手順**3**で選んだブックマークリストのアイコンに下線が表示されます。
- 5** OPTIONを押す。
オプションメニューが表示されます。
- 6** △/▽で「ブックマークを全解除」を選び、▶|| を押す。
確認画面が表示されます。
- 7** ◀/▶で「はい」を選び、▶|| を押す。
選んだブックマークリストの全曲が解除されます。
「いいえ」を選ぶと、再生画面に戻ります。

次のページにつづく ↓

ブックマークリストの曲順を変える

- 1 BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ で  (プレイリスト) を選び、 $\triangleright||$ を押す。
プレイリスト一覧が表示されます。
- 3 $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ で曲順を変えたいブックマークリストを選び、 $\triangleright||$ を押す。
曲一覧が表示されます。
- 4 OPTIONを押す。
オプションメニューが表示されます。
- 5 Δ/∇ で「曲の並べ替え」を選び、 $\triangleright||$ を押す。
曲順変更画面が表示されます。
- 6 Δ/∇ で曲順を変えたい曲を選び、 $\triangleright||$ を押す。
移動先選択画面が表示され、選んだ曲に矢印 (\blacktriangle) が表示されます。
- 7 Δ/∇ で移動先を選び、 $\triangleright||$ を押す。
手順6で選んだ曲が、手順7で選んだ位置に移動します。
複数の曲を移動する場合は、手順6と手順7を繰り返します。
- 8 BACKを押す。
曲一覧に戻ります。

ご注意

- 再生対象のブックマークリスト(曲一覧でいずれかの曲に  が付いている場合)の曲順は変更できません。

次のページにつづく 

ブックマークリストのアイコンを変える

ブックマークリストに登録した曲に付くアイコンを選べます。
ブックマークリストに登録した曲の再生中にブックマークアイコンが表示され、どのブックマークリストに登録した曲か確認できます。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で (プレイリスト) を選び、 $\triangleright\|\|$ を押す。

プレイリスト一覧が表示されます。

3 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ でアイコンを変えたいブックマークリストを選び、 $\triangleright\|\|$ を押す。

曲一覧が表示されます。

4 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

5 Δ/∇ で「ブックマークアイコン変更」を選び、 $\triangleright\|\|$ を押す。

アイコン選択画面が表示されます。

6 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ でアイコンを選び、 $\triangleright\|\|$ を押す。

選んだアイコンに変わります。

ヒント

- CONNECT Playerではブックマークリストの名前を変更できます。詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

曲を削除する

削除予定リストに曲を登録しておく、次回SonicStageまたはCONNECT Playerに接続したときに、まとめて削除できます。削除予定リストに登録し、次回接続時に本機から削除された曲は、SonicStageまたはCONNECT Playerからは削除されません。

削除予定リストに登録できる曲は、最大100曲までです。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で (再生画面へ) を選び、 $\triangleright|||$ を押す。

現在再生されている曲が表示されます。

3 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

4 Δ/∇ で「削除予定に登録」を選び、 $\triangleright|||$ を押す。

「削除予定リストに登録しました。」と表示され、登録が完了します。

削除予定リストに登録した曲に削除予定のアイコン () が付きます。

登録した曲は、次回SonicStageまたはCONNECT Playerに接続したときに、本機から削除されます。

ヒント

- 曲一覧で、削除したい曲を選択中にOPTIONを押すと、オプションメニューが表示されます。オプションメニューで「削除予定に登録」を選べば、削除予定リストに登録できます。

ご注意

- 削除予定リストに登録し本機から削除された曲は、以降、SonicStageまたはCONNECT Playerに接続しても本機に自動的に転送されません。再転送したい場合の操作については、SonicStageまたはCONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

次のページにつづく 

削除予定リストの曲を解除する

- 1 削除予定リストから解除したい曲の再生画面を表示する。
- 2 OPTIONを押す。
オプションメニューが表示されます。
- 3 △/▽で「削除予定を解除」を選び、▷⏮を押す。
「削除予定リストから解除しました。」と表示され、次の曲が再生されます。

ご注意

- 削除予定リストに登録されている曲の再生時以外は、オプションメニューに「削除予定を解除」は表示されません。

次のページにつづく ↓

削除予定リストに登録されている全曲を解除する

削除予定リストの再生中(曲一覧でいずれかの曲に▶が付いている場合)のみ曲を解除できます。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。


2 Δ/▽/◀/▶で (プレイリスト) を選び、▶を押す。

プレイリスト一覧が表示されます。

3 Δ/▽/◀/▶で「削除予定リスト」を選び、▶を押す。

曲一覧が表示されます。

4 ▶を押す。

再生が始まり、削除予定のアイコン() に下線が表示されます。

5 OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

6 Δ/▽で「削除予定を全解除」を選び、▶を押す。

確認画面が表示されます。

7 ◀/▶で「はい」を選び、▶を押す。

「削除予定リストの曲を全て解除しました。」と表示され、プレイリスト一覧へ戻ります。

「いいえ」を選ぶと、解除を中止し、再生画面へ戻ります。

曲を評価する

曲に最高5つまで星（☆）が付けられます（☆評価）。お気に入りの曲に星を付け、星の数から曲を探せます（🔍 15ページ）。

評価には、自分で設定できる手動設定と、SonicStageまたはCONNECT Playerが設定する自動設定があります。

手動で評価するには

1 評価したい曲を再生中に、OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

2 △/▽で「☆評価」を選び、▷/◀を押す。

設定画面が表示されます。

3 △/▽で星（☆）の表示に移動し、◀/▷で星の数を選び、▷/◀を押す。

再生画面へ戻ります。

ご注意

- 設定した評価による曲の検索は、次回SonicStageまたはCONNECT Playerに接続したとき以降からできます。
- SonicStageで☆評価が未設定の曲を本機に転送した場合、本機では、手動評価の★3つ（★★★）が表示されます。
また、本機では☆評価を未設定に変更することはできません。

自動で評価するには

1 評価したい曲を再生中に、OPTIONを押す。

オプションメニューが表示されます。

2 △/▽で「☆評価」を選び、▷/◀を押す。

設定画面が表示されます。

3 △/▽で「自動」を選び、▷/◀を押す。

SonicStageまたはCONNECT Playerが設定する自動設定値が表示され、再生画面へ戻ります。

💡 ヒント

- 自動設定は縁取りの星（☆）で表示され、手動設定は塗りつぶした星（★）で表示されます。
- 自動評価は、SonicStageまたはCONNECT Playerでの再生回数や再生操作をもとに、それぞれのソフトウェアが設定します。

ジャンルの近いアーティストを探す (アーティストリンク)

再生中のアーティストを起点として、ジャンルの近いアーティストやその曲を検索できます。アーティスト一覧では、カーソルの位置に合わせて曲の一部が再生されるので(プレビュー再生)、曲を聞きながらアーティストを検索できます。

1 検索の起点としたいアーティスト(キーアーティスト)の曲を再生する。

2 LINKを押す。

検索が始まります。

検索後、検索されたアーティストの一覧が表示されます。

3 △/▽でアーティストを選び、▶⏮を押す。

曲一覧が表示されます。

▶⏮を押す前にアーティストを選択したままにすると、選択中のアーティストの全曲が、自動的にプレビュー再生されます。

「全ての関連する曲」を選ぶと、アーティスト一覧のすべてのアーティストの曲がプレビュー再生され、▶⏮を押すと再生画面が表示されます。「検索範囲を拡大」を選ぶと、ジャンルが少し遠くなりますが、さらに幅広いアーティストの検索ができます。

4 △/▽/◀/▶で曲を選び、▶⏮を押す。

選んだ曲から再生し、一覧に含まれる全曲が再生されます。

次のページにつづく ↓

ヒント

- アーティスト一覧で、アーティストを選んだ状態で、▶⏮を押したままにすると、選択したアーティストの全曲を再生します。
- BACKを押すと、前の画面に戻ります。
- 手順②、③でアーティスト名、曲名を選択しているときや、手順④で再生画面を表示しているときにLINKを押すと、アーティスト一覧が表示され、再生中の曲を初めから再生し、その曲の再生が終わると一時停止します。
- キーアーティストを選択中は、◀▶/▶⏮は無効になります。前の曲や次の曲の頭出し、曲の早送り/早戻しはできません。
- 該当するアーティストが見つからない場合は、自動的に検索範囲を拡大して検索します。
検索範囲を拡大しても、起点にしたアーティストに近いジャンルのアーティストがない場合や、近いジャンルのアーティストの曲が本機に転送されていない場合、または曲情報がない場合は、「該当するアーティストが見つかりませんでした。」と表示されます。

ご注意

- アーティストリンクの機能、およびその検索結果は、今後のファームウェアのバージョンアップなどにより、変更される場合があります。
- アーティストリンクは曲情報を利用し曲を検索するため、曲情報が取得できない曲はアーティストリンクで検索されません。また、本機に保存されている曲の曲情報がない場合は、利用できません。曲情報はインターネット経由で自動的に取得できます。
- 画面に「Artist Link」が表示されているときは、本機の操作はできません。
- アーティストリンクでの検索は、通常の再生よりも電池を消耗します。

次のページにつづく 

アーティストリンクを中止するには

- 1 アーティスト一覧でBACKを押す。

幅広く検索する(ワイドレンジ)

- 1 「ジャンルの近いアーティストを探す」の手順③(🔍 45ページ)で「検索範囲を拡大」を選び、▶️を押す。

検索が始まります。検索後、検索されたアーティストの一覧が表示されます。

「全ての関連する曲」を選ぶと、アーティスト一覧のすべてのアーティストの曲がプレビュー再生されます。

「検索範囲を縮小」を選ぶと、アーティスト一覧に戻ります。

該当するアーティストがない場合は、「該当するアーティストが見つかりませんでした。」と表示されます。「戻る」を選んで▶️を押せば、前の画面に戻ります。

- 2 Δ/▽でアーティストを選び、▶️を押す。

曲一覧が表示されます。

- 3 Δ/▽で曲を選び、▶️を押す。

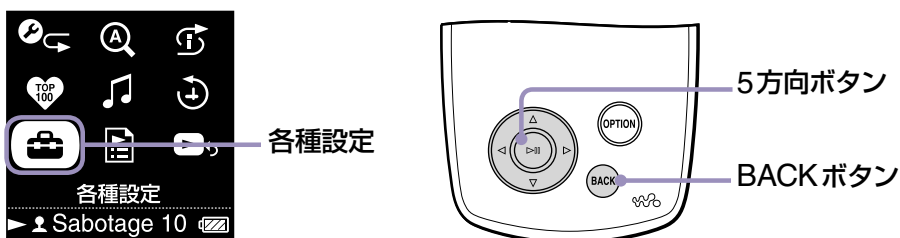
再生が始まり、選んだアーティストの全曲を再生します。

ヒント

- 手順②でキーアーティストを選択した状態でLINKを押すと、ワイドレンジで検索します。



音質を設定する (6バンドイコライザ)

音楽のジャンルなどに合わせて音を設定できます。



音楽に応じた設定にする

聞きたい音楽のジャンルに応じた音質の設定ができます。

- 1 **BACKを押したままにする。**
ホームメニューが表示されます。
- 2 **△/▽/◀/▶で  (各種設定) を選び、▶|||を押す。**
設定項目一覧が表示されます。
- 3 **△/▽で「サウンド設定」を選び、▶|||を押す。**
サウンド設定項目一覧が表示されます。
- 4 **△/▽で好みのサウンドを選び、▶|||を押す。**
選んだサウンドが設定され、各種設定画面へ戻ります。
サウンド設定の各項目内容について詳しくは、 49ページをご覧ください。

次のページにつづく ↓

サウンド設定項目一覧

選んだ設定項目が、表示窓に()内のアイコンで表示されます。

設定項目	説明
サウンド効果オフ	通常の音質になります。(お買い上げ時の設定)
ヘビー (H)	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ポップス (P)	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ジャズ (J)	低域と高域を強調したメリハリのある音質になります。
ユニーク (U)	低域と高域を強調し中域もある程度強調した音質になります。
カスタム 1 (1)	自分で設定した音質になります。音域ごとに更に細かく設定できます。設定方法は 50 ページをご覧ください。
カスタム 2 (2)	

ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「カスタム 1」または「カスタム 2」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。
- 「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定しているときは、サウンド設定を変更できません。

[次のページにつづく](#) ↓

好みの音質に細かく設定する(カスタム)

表示窓を見ながら、音質をそれぞれ6つの音域と7段階の音声レベルで設定し、「カスタム 1」、「カスタム 2」として好みの音質を保存できます。


- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\langle/\rangle$ で  (各種設定) を選び、 \triangleright を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「サウンド設定」を選び、 \triangleright を押す。
サウンド設定項目一覧が表示されます。
- 4 Δ/∇ で「カスタム 1」または「カスタム 2」を選び、 \triangleright を押す。
設定画面が表示されます。
- 5 \langle/\rangle で音域を選択し、 Δ/∇ で音声レベルを設定する。
6つの音域を7レベルで設定できます。
- 6 \triangleright を押す。
各種設定画面に戻ります。

設定を中止するには

- 1 **BACK**を押す。
設定を中止し、1つ前の画面に戻ります。

音量制限を設定する

音モレや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がらないように設定できます。

- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で  (各種設定) を選び、 \triangleright を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「AVLS (音量制限)」を選び、 \triangleright を押す。
- 4 Δ/∇ で「オン」を選び、 \triangleright を押す。
AVLS*が設定されます。


* AVLSとは、Automatic Volume Limiter Systemの略です。

AVLS (音量制限) を解除するには

- 1 手順④で「オフ」を選ぶ。
音量の制限はなく、操作に合わせて音量が変わります。

操作確認音を設定する

ピッなどの操作確認音を解除できます。

- 1 BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で  (各種設定) を選び、 \triangleright を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「操作確認音」を選び、 \triangleright を押す。
- 4 Δ/∇ で「オフ」を選び、 \triangleright を押す。
操作確認音は鳴りません。

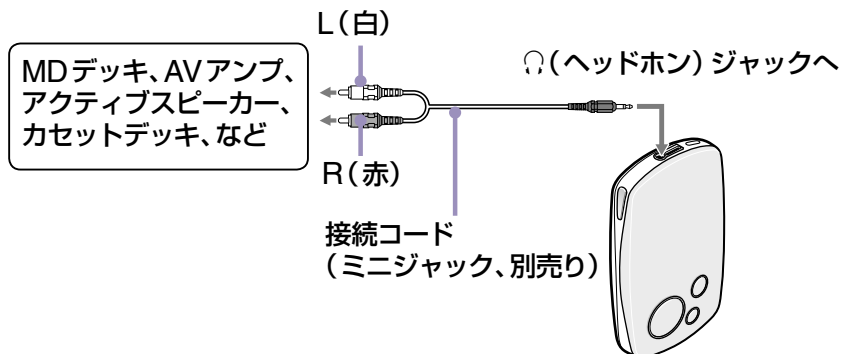
操作確認音を鳴らすには


- 1 手順④で「オン」を選ぶ。
操作確認音が鳴るように設定されます。

他の機器に接続する

他のステレオ機器に接続して曲を聞いたり、本機で再生した曲をMDやテープに録音したりできます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- 1 接続する機器の電源を必ず切ってから、以下のように接続する。



- 2 BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 3 Δ/▽/◀/▶で  (各種設定) を選び、▶||を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 4 Δ/▽で「オーディオ出力」を選び、▶||を押す。
- 5 Δ/▽で「ラインアウト」を選び、▶||を押す。
接続した機器に音声が出力されます。

ご注意

- 曲を聞く前に、接続した機器の音量を下げてください。音がひずんだり、思わぬ大音量が出てスピーカーが破損するおそれがあります。
- 付属のヘッドホン接続しているときは、Ω (ヘッドホン) 出力の設定、「オーディオ出力」を「ラインアウト」に切り換えないでください。音量調節ができなくなり、ひずんだ大きな音が出ます。
- 「ラインアウト」に設定すると、音量調節と「サウンド設定」(☞ 48ページ) はできないだけでなく、働きません。

画面の表示方法を設定する

再生画面を表示する時間や表示するタイミングを設定できます。

表示時間を設定する

曲の再生中、再生画面を表示する時間を設定できます。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 △/▽/◀/▶で  (各種設定) を選び、▶||を押す。


設定項目一覧が表示されます。

3 △/▽で「画面表示」を選び、▶||を押す。

4 △/▽で「表示時間」を選び、▶||を押す。

5 △/▽で表示時間を選び、▶||を押す。

曲の再生中に、設定した時間なにも操作しないと、スクリーンセーバーを表示したり、再生画面を消したりできます。

スクリーンセーバーの設定を「あり」に設定している場合はスクリーンセーバーが表示されます。「なし」に設定している場合は再生画面が消えます。スクリーンセーバーの設定について詳しくは、 56ページをご覧ください。


ヒント

- スクロール中は表示を続けます。
- お買い上げ時は30秒に設定されています。


次のページにつづく 

曲ごとに再生画面を表示する

曲が切り換わったとき、再生画面を自動的に表示するように設定できます。

- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\triangleleft/\triangleright$ で  (各種設定) を選び、 \triangleright を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「画面表示」を選び、 \triangleright を押す。
- 4 Δ/∇ で「曲切り換わり時表示」を選び、 \triangleright を押す。
- 5 Δ/∇ で「オン」を選び、 \triangleright を押す。
曲が切り換わったとき、再生画面を表示します。

ご注意


- 「オン」に設定している場合、推奨アクセサリー ( 105ページ) のリモコンを使って曲の早送り/早戻しをするときにも再生画面が表示されます。

再生画面を表示しないようにするには

- 1 手順 ⑤ で「オフ」を選ぶ。
曲が切り換わったとき、再生画面を表示しません。

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーを、アニメーション表示、時計、カレンダーの中から選んで設定できます。スクリーンセーバーを使わない設定にもできます。

- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 **△/▽/◀/▶**で  (各種設定) を選び、**▶**を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3 **△/▽**で「スクリーンセーバー」を選び、**▶**を押す。
スクリーンセーバー設定画面が表示されます。
- 4 **△/▽**で「あり」を選び、**▶**を押す。
スクリーンセーバー選択画面が表示されます。
- 5 **△/▽/◀/▶**でスクリーンセーバーを選び、**▶**を押す。
選んだスクリーンセーバーが設定され、各種設定画面に戻ります。

スクリーンセーバーを使用しないときは

- 1 手順④で「なし」を選び、**▶**を押す。
スクリーンセーバーを使わないように設定されます。

ヒント


- スクリーンセーバーは、「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページからダウンロードすることで、4種類まで追加できます。詳しくは、下記のページをご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/support-pa/>
- ダウンロードできるスクリーンセーバーは、変更される場合があります。

で注意

- 追加したスクリーンセーバーの種類によっては、本機の電池持続時間が異なる場合があります。


画面の明るさを設定する

表示画面の明るさを5段階で設定できます（輝度設定）。

- ① **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- ② $\Delta/\nabla/\langle/\rangle$ で （各種設定）を選び、 \triangleright を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- ③ Δ/∇ で「**輝度設定**」を選び、 \triangleright を押す。
輝度設定画面が表示されます。
- ④ \langle/\rangle で明るさを調整し、 \triangleright を押す。

本体情報を表示する

本機の型名やシリアル番号、バージョン情報、保存されている総曲数を確認できます。


- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で  (各種設定) を選び、 \triangleright を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「本体情報」を選び、 \triangleright を押す。
本体情報一覧が表示されます。
 Δ/∇ でスクロールすれば、本体情報を確認できます。

本体情報一覧

本体情報	説明
型名	本機の型名を表示します。(お買い上げ時の設定)
シリアル番号	シリアル番号を表示します。カスタマー登録の際に、シリアル番号の入力が必要となります。
バージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
総曲数	本機に保存されている総曲数を表示します。

表示言語を設定する

メニューやメッセージの言語を選べます。

- 1 BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で  (各種設定) を選び、 \triangleright を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3 Δ/∇ で「言語設定」を選び、 \triangleright を押す。
- 4 Δ/∇ で表示言語を選び、 \triangleright を押す。
表示言語について詳しくは、下表をご覧ください。

表示言語一覧

表示言語	説明
日本語	日本語で表示します。(お買い上げ時の設定)
English	英語で表示します。
Français	フランス語で表示します。
Deutsch	ドイツ語で表示します。
Italiano	イタリア語で表示します。
Español	スペイン語で表示します。
简体中文	中国語(簡体)で表示します。
繁體中文	中国語(繁体)で表示します。
한글	韓国語で表示します。

時計を設定する

時計を設定し、表示できます。時計を設定するには、SonicStageやCONNECT Playerに接続したときに、パソコンで設定されている時計と自動的に合わせる方法（時刻同期）と、自分で設定する方法があります。

パソコンの設定時刻と同期させるには

- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 **△/▽/◀/▶**で （各種設定）を選び、**▶|||**を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3 **△/▽**で「時計設定」を選び、**▶|||**を押す。
時計設定画面が表示されます。
- 4 **△/▽**で「時刻同期設定」を選び、**▶|||**を押す。
時刻同期設定画面が表示されます。
- 5 **△/▽**で「対応ソフトと同期」を選び、**▶|||**を押す。
次回SonicStageやCONNECT Playerに接続したときに、時刻が同期して設定されます。

次のページにつづく 

手動で時計を設定するには

- 1** BACKを押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2** $\Delta/\nabla/\langle/\rangle$ で  (各種設定) を選び、 \triangleright を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3** Δ/∇ で「時計設定」を選び、 \triangleright を押す。
時計設定画面が表示されます。
- 4** Δ/∇ で「時刻同期設定」を選び、 \triangleright を押す。
時刻同期設定画面が表示されます。
- 5** Δ/∇ で「同期しない」を選び、 \triangleright を押す。
時計設定画面に戻ります。
- 6** Δ/∇ で「日付時刻設定」を選び、 \triangleright を押す。
日付時刻設定画面が表示されます。
- 7** \langle/\rangle で変更する数値を選び、 Δ/∇ で数値を上下し、 \triangleright を押す。
日付と時刻が設定され、時計設定画面に戻ります。

ご注意

- 「時刻同期設定」が「対応ソフトと同期」に設定されている場合は、時計を手動で設定できません。
- 「時刻同期設定」を「同期しない」に設定した場合は、1か月で最大120秒の誤差が生じる場合があるため、「対応ソフトと同期」に設定して使用することをお勧めします。「同期しない」に設定して、時刻に誤差が生じた場合は、手動で時刻を修正してください。

時計の日付表示形式を設定する

時計表示の日付の表示形式を、「年/月/日」、「月/日/年」、「日/月/年」の3種類から選べます。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 △▽/</>で  (各種設定) を選び、▷⏏を押す。

設定項目一覧が表示されます。

3 △▽で「時計設定」を選び、▷⏏を押す。

時計設定画面が表示されます。

4 △▽で「日付表示形式」を選び、▷⏏を押す。

日付表示形式設定画面が表示されます。

5 △▽で日付表示形式を選び、▷⏏を押す。

設定値は以下の3種類から選べます。


- 年月日(YYYY/MM/DD) : 日付が「年/月/日」の形式で表示されます。
- 月日年(MM/DD/YYYY) : 日付が「月/日/年」の形式で表示されます。
- 日月年(DD/MM/YYYY) : 日付が「日/月/年」の形式で表示されます。

ヒント

- ここで設定した表示形式で、スクリーンセーバー（時計）や日付時刻設定画面の日付が表示されます。

時計の時刻表示形式を設定する

時計表示の時刻の表示形式を、12時間表示または24時間表示から選べます。

- 1 **BACK**を押したままにする。
ホームメニューが表示されます。
- 2 **△/▽/◀/▶**で  (各種設定) を選び、**▶**を押す。
設定項目一覧が表示されます。
- 3 **△/▽**で「**時計設定**」を選び、**▶**を押す。
時計設定画面が表示されます。
- 4 **△/▽**で「**時刻表示形式**」を選び、**▶**を押す。
時刻表示形式設定画面が表示されます。
- 5 **△/▽**で**時刻表示形式**を選び、**▶**を押す。
時刻表示が設定され、時計設定画面に戻ります。

ヒント

- ここで設定した表示形式で、スクリーンセーバー（時計、カレンダー）や日付時刻設定画面の時刻が表示されます。

お買い上げ時の設定に戻す

設定項目の内容をお買い上げ時の設定に戻せます。

お買い上げ時の設定に戻しても、保存しているデータは削除されません。

① BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

② $\Delta/\nabla/\leftarrow/\rightarrow$ で (各種設定) を選び、 \triangleright を押す。

設定項目一覧が表示されます。

③ Δ/∇ で「設定初期化」を選び、 \triangleright を押す。

設定初期化画面が表示されます。

④ \leftarrow/\rightarrow で「はい」を選び、 \triangleright を押す。

「設定を工場出荷時の状態に戻しました。」と表示され、各種設定画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

1 手順④で「いいえ」を選び、 \triangleright を押す。

設定を中止し、各種設定画面に戻ります。

ご注意

- 再生中はお買い上げ時の設定に戻せません。

ハードディスクを初期化する

内蔵ハードディスクを初期化できます。初期化すると、記録された音楽やデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

1 BACKを押したままにする。

ホームメニューが表示されます。

2 △/▽/◀/▶で  (各種設定) を選び、▶⏻を押す。

設定項目一覧が表示されます。

3 △/▽で「ハードディスク初期化」を選び、▶⏻を押す。

ハードディスク初期化画面が表示されます。

4 ◀/▶で「はい」を選び、▶⏻を押す。

確認画面が表示されます。

5 ◀/▶で「はい」を選び、▶⏻を押す。

「ハードディスク初期化」と表示されます。

初期化が終わると、「ハードディスクの初期化が完了しました。」と表示され、各種設定画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

1 手順 **4**、または手順 **5** で「いいえ」を選び、▶⏻を押す。

設定を中止し、各種設定画面に戻ります。

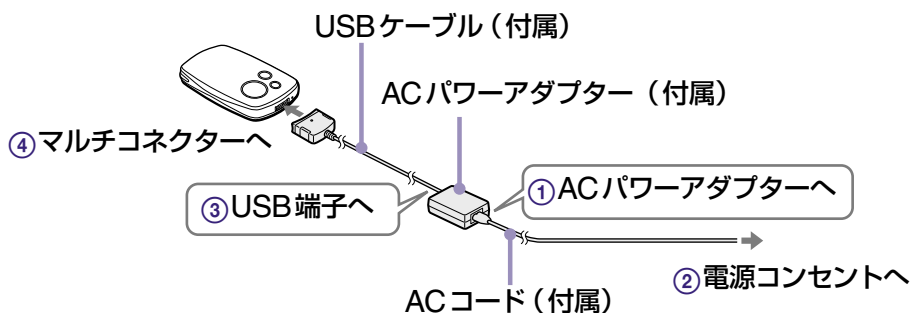
で注意

- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。
- 再生中はハードディスクを初期化できません。
- ハードディスクを初期化するとすべてのファイルが削除され、各設定値もお買い上げ時の設定値に戻ります。

パソコンを使わないで充電する

本機とパソコンを接続すれば充電できますが、付属のACパワーアダプターにUSBケーブルを接続すれば、電源コンセントから充電できます。

① 以下の手順で本機をつなぐ。



充電は以下の時間で完了します。充電が終わると \square が点灯し、USBケーブルのランプが消灯します。

NW-A1000シリーズの場合：

約1時間で80%、約2時間で充電が完了します。

NW-A3000シリーズの場合：

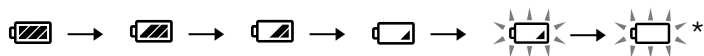
約2時間で80%、約3時間で充電が完了します。

* 室温で電池残量がない状態から充電したときの目安です。電池残量や電池の使用状況により、充電時間は異なります。例えば、満充電に近い場合は、すぐに充電が完了します。また、充電時の温度が低い場合は、充電時間は長くなります。

次のページにつづく ↓

電池残量を確認する

再生画面または設定画面などの表示窓右下に、電池残量が表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。



* 表示窓に「電池残量がありません。充電してください。」と表示され、「ピー」という音がします。

繰り返し充電について

本機に使用している電池はメモリー効果が少ないため、電池を使い切る前に充電しても充電容量は低下しません。

ご注意

- 充電には、付属のUSBケーブルとACパワーアダプター、または別売りの充電クレードルをお使いください。
- 充電は周囲の温度が5～35℃の環境で行ってください。
- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況および使用環境により、残量表示は増減します。
- 再生中にACパワーアダプターに接続すると、再生中の曲は一時停止し、アニメーション表示後にホームメニューが表示されます。
- 電池を使い切った状態からの充電可能回数の目安は500回です。ただし、使用条件により異なります。
- 付属のACパワーアダプターは100V～240Vの電源電圧に対応しています。コンセントの形にあったACプラグアダプターをご用意いただければ、海外でも使用できます。

電池を長持ちさせたいときは

本機の設定変更や電源管理を適切に行えば、電池の使用量を節約し、長時間使用できます。

ここでは、電池を長持ちさせるヒントをご紹介します。

手動で電源を切る

再生が一時停止した状態でしばらく放置しておくと電源は自動的に切れますが、手動で電源を切れば、電池の消耗を抑えられます。

手動で電源を切るには、オプションメニューを表示させ、「電源を切る」を選びます。または、OPTIONを押したままにします。

画面表示を設定する

画面表示設定で「表示時間」を「15秒」、「曲の切り換わり時表示」を「オフ」、「スクリーンセーバー」を「なし」に設定すれば、他の画面設定より電池が長持ちします。

画面の明るさを設定する

「輝度設定」で輝度を下げれば (☞ 57ページ)、電池が長持ちします。

音質設定をオフにする

「サウンド設定」で「サウンド効果オフ」に設定すれば (☞ 48ページ)、他の設定より電池が長持ちします。

パソコン接続時のご注意

USB接続時にパソコンがサスペンド、スリープ(スタンバイ状態)、ハイバネーション(休止状態)に入ると、充電されないため電池が消耗します。

ご注意

- 電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。電源コードを接続していないノートパソコンと本機を接続したまま長時間放置しないでください。

音楽ファイル形式とビットレートとは？

音楽ファイル形式とは

インターネットや音楽CDから曲をSonicStageまたはCONNECT Playerへ取り込み、保存するときの形式を音楽ファイル形式といいます。音楽ファイル形式には、MP3やWMA、ATRACなどがあります。

MP3：^{エムペグ}MPEG-1 ^{オーディオ}Audio ^{レイヤー}Layer3の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

WMA：Windows Media Audioの略で、Microsoft社が開発したオーディオ圧縮形式です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ATRAC：^{アダプティブ}ATRAC (^{トランスフォーム}Adaptive ^{アコースティック}Transform ^{コーディング}Acoustic Coding) は、ATRAC3およびATRAC3Plusの総称で、高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。ATRAC3では、音声データをCDの約10分の1に圧縮でき、ATRAC3plusでは、約20分の1に圧縮できます。

AAC：^{アドバンスド}Advanced ^{オーディオ}Audio ^{コーディング}Codingの略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めたオーディオ圧縮の規格です。MP3より小さいファイルサイズで、同等の音質が楽しめます。

ビットレートとは

単位時間あたりにやりとりされる情報量のこと、64 kbps (bits per second) のように表します。数値が大きいほど情報量は多くなり、音質は向上しますが、変換後の音楽ファイルサイズも大きくなります。

[次のページにつづく](#) ↓

音楽ファイルサイズと音質、ビットレートの関係

ビットレートを上げれば、転送できる曲数が少なくなりますが、高音質な音楽ファイルを本機に転送して楽しめます。

ビットレートを下げれば、転送できる曲数は多くなりますが、音質が低下します。

本機で再生できる音楽ファイル形式とビットレートについては、[④ 102ページ](#)をご覧ください。

ご注意

- パソコンに取り込んだときのビットレートより高いビットレートで本機に転送しても、取り込んだときのビットレート以上の音質で再生できません。

曲間を空けずに再生したいときは

曲を ATRAC 形式で SonicStage または CONNECT Player に取り込んで本機に転送すれば、曲間を空けずに再生できます。

コンサートやライブなど曲間を空けずに収録されたアルバムは、曲を ATRAC 形式で SonicStage または CONNECT Player に取り込み本機に転送すれば、本機で最後まで途切れることなく再生できます。

ご注意

- 本機で曲間を空けずに再生するには、曲間を空けずに収録された1つのアルバム内の曲を、同じビットレートの ATRAC 形式で取り込む必要があります。
- CONNECT Player で曲を再生した場合は、ATRAC 形式でも曲間が空いて再生されます。

ネットジュークと接続する (Simple Mode)

付属のUSBケーブルを使って本機をハードディスクコンポ「ネットジューク」に接続すると、パソコンを使わずに、ネットジュークに取り込んだ曲（音楽データ）を本機に高速転送し、再生できます（Simple Mode）。

Simple Modeでは、本機の基本機能が使用できます。

ネットジュークについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/netjuke>

ご注意

- ネットジュークから本機に音楽データを転送した場合、曲名、アルバム名、アーティスト名は、記号、数字、アルファベット、日本語の順に表示されます。
- ネットジュークから本機に音楽データを転送した場合（Simple Modeの場合）、以下の機能は使用できません。
 - 日本語の曲名、アルバム名、アーティスト名の読み仮名変換
 - アーティスト名の頭文字の「The」、「THE」、「ザ」、「ザ・」、「ジ」、「ジ・」、「ざ」、「ざ・」、「じ」、「じ・」を省略した並び換え
 - イニシャルサーチの読み仮名検索
 - リストサーチの以下のサーチ
 - ☆評価
 - リリース年
 - 最近転送したアルバム
 - 手動での曲評価（☆評価）の設定
 - アーティストリンク
 - インテリジェントシャッフルの以下のシャッフル
 - アーティストリンクシャッフル
 - よく聞くシャッフル
 - タイムマシンシャッフル
 - 削除予定リストに追加した曲の解除
 - よく聞く100曲
 - 再生履歴
- SonicStage CP (SonicStage Ver.4.0)より前のバージョンのSonicStageと接続した場合も、本機はSimple Modeで動作し、基本機能のみ使用できます。

SonicStageやCONNECT Playerに保存している曲を再生する

SonicStageまたはCONNECT Playerそれぞれに異なる曲を保存している場合、どちらかに取り込めば、本機で再生できます。

CONNECT Playerに保存している曲を再生するには

SonicStageをお使いの場合、CONNECT Playerに保存している曲をSonicStageへ取り込めば、本機で再生できます。SonicStageへの曲の取り込みについて詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。CONNECT Playerのファイル保存先は、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

SonicStageに保存している曲を再生するには

CONNECT Playerをお使いの場合、SonicStageに保存している曲をCONNECT Playerへ取り込めば、本機で再生できます。CONNECT Playerへの曲の取り込みについて詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

ご注意

- SonicStageに保存している曲（音楽データ）のうち、拡張子が「.omg」のOpenMG形式の音楽ファイルは、CONNECT Playerへ取り込めません。「SonicStage ファイル一括変換ツール」を使い、拡張子を「.oma」の音楽ファイル形式に変換してからCONNECT Playerへ取り込んでください。詳しくは、CONNECT Playerのヘルプをご覧ください。

曲情報は どうやって取り込まれるの？

SonicStage または CONNECT Player を使えば、CD を挿入しただけでアルバム名やアーティスト名、曲名などの曲情報を自動で取得できます。

これは、CD の曲数や時間などの情報を元に、曲情報を曲情報のデータサービス：CDDB (Gracenote CD DataBase) から、インターネット経由で自動的に無償で取得しているためです。

このとき取得した曲情報は本機に転送され、さまざまな検索が可能になります。

ヒント

- SonicStage または CONNECT Player では、取得したアルバム名やアーティスト名、曲名が日本語の場合、読み仮名を判断し50音順で表示します。
本機にはこの情報を含めて転送されるため、読み仮名で検索できます。
- アーティストの姓と名の上にスペースがない方が、読み仮名変換の精度が高くなります。取得した曲情報のアーティスト名の姓と名の上にスペースがある場合は、曲情報を編集してください。曲情報の編集については詳しくは、SonicStage または CONNECT Player のヘルプをご覧ください。

ご注意

- CD によっては曲情報を取得できないことがあります。曲情報を取得できない場合は、SonicStage または CONNECT Player で曲情報を入力してください。曲情報の編集については詳しくは、それぞれのヘルプをご覧ください。

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを、本機の内蔵ハードディスクに転送できます。

Windowsエクスプローラ上に「リムーバブルディスク」として本機の内蔵ハードディスクが表示されます。

ご注意

- Windowsのエクスプローラを使って本機内蔵ハードディスクを操作している間、SonicStageまたはCONNECT Playerは使わないでください。
- エクスプローラを使って、MP3やWAVなどのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageまたはCONNECT Playerを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、USBケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSBケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。本機のハードディスクの初期化について詳しくは、[65ページ](#)をご覧ください。
- Windows上では、本機のハードディスクの容量は少なく表示されます。ハードディスクは、1GBを10億バイトで計算し、Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しているためです。
本機では以下のように表示されます。
NW-A1000：約5.6 GB (5,980,979,200 バイト)
NW-A1200：約7.29 GB (7,836,237,824 バイト)
NW-A3000：約18.2 GB (19,542,409,216 バイト)

ファームウェアをアップデートする

本機は、最新のファームウェアをインストールすることで、新しい機能の追加などを行うことができます。最新のファームウェアおよび更新の方法について詳しくは、「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページでご案内しておりますのでご確認ください。

<http://www.sony.co.jp/support-pa/>

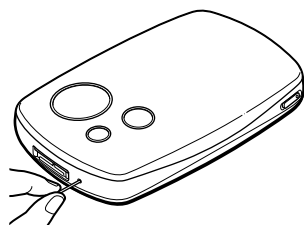
-
- 1 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページから、「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」をダウンロードする。
 - 2 本機をパソコンへ接続し、「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」を起動する。
 - 3 「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」のメッセージに従ってアップデートを行う。
 - 4 完了のメッセージが表示されたら、[終了] をクリックする。
「デジタルプレイヤー・ソフトウェア更新ツール」が終了します。
 - 5 本機をパソコンから取り外す。
ファームウェアのアップデートが自動的に始まります。
アップデートが終わると、自動的に本機が再起動します。
-

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、以下の手順に従ってください。

1 クリップなどの細い棒で、本機底面のRESETボタンを押す。

RESETボタンを押しても、本機に保存しているデータや設定は消去されません。



2 「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。

3 SonicStageまたはCONNECT Playerを使用しているときは、それぞれのソフトウェアのヘルプで調べる。

4 「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。

<http://www.sony.co.jp/support-pa/>

5 手順1～4を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☎ 108ページ）またはお買い上げ店に相談する。

電源

症状	原因 / 処置
USBケーブルのランプが点灯しない。	<p>→ USBケーブルの端子が汚れています。乾いた柔らかい布などで端子を拭いてください。</p> <p>→ USBケーブルが正しく接続されていません。USBケーブルをまっすぐに本機の接続部の奥までしっかり差し込み、USBケーブルのランプが点灯するのを確認してください。</p>
本機の電源が自動的に切れた。	<p>→ 一時停止状態のまましばらく放置すると、本機の電源が切れます。HOLD以外のボタンを押すと電源が入ります。</p>
電池の持続時間が短い。	<p>→ 5℃以下の環境で使用している可能性があります。電池の特性によるもので故障ではありません。</p> <p>→ 本機を長期間使用していなかった場合、一時的に電池の持続時間が短くなる場合があります。何回か充放電を行うと、電池性能が回復します。</p> <p>→ 電池の交換が必要です。ソニーサービス窓口にお問い合わせください。</p> <p>→ 充電時間が短い可能性があります。☎ が表示されるまで、充電してください。</p>

音声

症状	原因 / 処置
再生音が出ない。 雑音が入る。	<p>→ 音量がゼロになっています。音量を上げてください (🔊 8ページ)。</p> <p>→ ヘッドホンがしっかり差し込まれていません。 🔊 (ヘッドホン) ジャックにしっかり差し込んでください (🔊 8ページ)。</p> <p>→ ヘッドホンのプラグが汚れています。乾いた柔らかい布などでプラグの汚れを拭いてください。</p> <p>→ 本体に曲が入っていません。</p>
再生音が大きくならない。	→ 「AVLS (音量制限)」が「オン」に設定されています。「AVLS (音量制限)」を「オフ」に設定してください (🔊 51ページ)。
右チャンネルから音が出ない。	→ ヘッドホンがしっかり差し込まれていません。 🔊 (ヘッドホン) ジャックにしっかり差し込んでください (🔊 8ページ)。
音量を調節できない。	→ 「オーディオ出力」が「ラインアウト」に設定されています。接続した機器側で音量を調節してください。または「オーディオ出力」を「ヘッドホン」に設定してください (🔊 53ページ)。
接続したステレオ機器で、音がひずんだり雑音聞こえる。	→ 「オーディオ出力」が「ヘッドホン」に設定されています。「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定してください (🔊 53ページ)。

操作/再生

症状	原因 / 処置
ボタン操作に反応しない。	<p>→ ホールドになっています (誤操作防止状態)。HOLD ボタンを押したままにし、ホールドを解除してください (🔊 8ページ)。</p> <p>→ HOLD以外のボタンを押してください。</p> <p>→ ホールド状態のまま本機の電源が切れた場合は、HOLD以外のボタンを押して本機の電源を入れると、ホールド中のメッセージが表示されます。メッセージの表示中にHOLDボタンを押したままにして、ホールドを解除してください。</p>

操作/再生(つづき)

症状	原因/処置
ボタン操作に反応しない。(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> → 結露(本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに内部に付着する水滴)が生じている可能性があります。そのまま約2、3時間置いてください。 → 電池の残量が少なくなっています。充電をしてください(☞ 66ページ)。
ホールドにできない。	<ul style="list-style-type: none"> → 本機の電源が切れているときは、HOLDボタンを押してもホールド状態にはできません。HOLD以外のボタンを押して本機の電源を入れ、HOLDボタンを押したままにしてください。「ホールドオン」と表示された後、しばらくそのまま放置しておく、ホールド状態のまま本機の電源が切れます。
再生していたら急に音が止まった。	<ul style="list-style-type: none"> → 電池が消耗しています。充電してください(☞ 66ページ)。 → 本機で再生できない音楽データを再生しようとしています(☞ 102ページ)。▶を押して別の曲を選び、再生してください。 → 長時間振動を与え続けた可能性があります。振動をなくし、再度再生してください。
タイトル欄に「□」と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> → 本機で表示できない文字が使用されています。SonicStageまたはCONNECT Playerを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
表示が消える。	<ul style="list-style-type: none"> → 操作ボタンを押してください。スクリーンセーバーを「なし」に設定した場合、画面の表示方法の設定で「表示時間」で選択した時間以上操作がないと自動的に表示が消えます。

次のページにつづく ↓

パソコンとの接続/SonicStage、CONNECT Player

症状	原因 / 処置
インストールできない。	<p>→ 対応のOS以外のOSを使っている可能性があります。「SonicStage はじめにお読みください」をご覧ください (☞「クイックスタートガイド」)。</p> <p>→ すべてのWindowsのソフトウェアを終了してください。他のソフトウェアが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがあります。特にウイルスチェックソフトウェアは負担が大きいため、必ず終了してください。</p> <p>→ ハードディスクの空き容量が足りません。ハードディスクの空き容量は200MB以上必要なため、不要なファイルなどを削除してください。</p> <p>→ Administrator 権限またはコンピューターの管理者でログオンしていない場合、インストールできないことがあります。Administrator 権限またはコンピューターの管理者でログオンしてください。</p>
画面上のバーが動いていない。または、CDドライブやハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない。	<p>→ インストール作業は正常に行われているため、そのままお待ちください。お使いのパソコン、CDドライブによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合があります。</p>
SonicStageまたはCONNECT Playerが起動しない。	<p>→ WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更すると、起動しない場合があります。「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」(http://www.sony.co.jp/support-pa/) のホームページで調べてください。</p>

次のページにつづく ↓

パソコンとの接続/SonicStage、CONNECT Player(つづき)


症状	原因 / 処置
USBケーブルでパソコンに接続しても、本機の表示窓に「接続中」と表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> → USBケーブルが正しく接続されていません。USBケーブルをいったん抜き、まっすぐに本機の接続部の奥までしっかり差し込んでください。 → USBハブを使用すると、表示されない場合があります。動作保証外のため、パソコンのUSB端子に直接接続してください。 → SonicStageまたはCONNECT Playerの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 → パソコン上で他のソフトウェアが起動していると、表示されない場合があります。しばらくしてから、USBケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。 → 電池が消耗しきっています。ACパワーアダプターを接続して充電してください(☞ 66ページ)。 → ソフトウェアのインストールに失敗している可能性があります。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください(☞「クイックスタートガイド」)。取り込んだ音楽データは引き継がれます。
本機がパソコンに認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> → USBケーブルがきちんと接続されていません。USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 → USBハブを使用すると、認識されない場合があります。動作保証外のため、パソコンUSB端子に接続してください。 → ソフトウェアのインストールに失敗している可能性があります。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう一度ソフトウェアをインストールしてください(☞「クイックスタートガイド」)。登録した音楽データは引き継がれます。

パソコンとの接続/SonicStage、CONNECT Player(つづき)

症状	原因 / 処置
転送できない。	<ul style="list-style-type: none"> → USBケーブルがきちんと接続されていません。USBケーブルをいったん抜いて、接続し直してください。 → 本体内の空き容量が不足しています。聞かなくなった曲を削除し(☞ 41ページ)、空き容量を増やしてください。 → 本機に転送できる曲数は、65,535曲、転送できるプレイリストは、8,192です。それを超える曲数またはプレイリストは転送できません。また、1プレイリストにつき999曲を超える曲数は転送できません。 → 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できない場合があります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお問い合わせください。
転送できる曲数が少ない。 (録音できる時間が短い。)	<ul style="list-style-type: none"> → 本体内の空き容量が不足しています。聞かなくなった曲を削除し(☞ 41ページ)、空き容量を増やしてください。 → 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本体内の空き容量を増やしてください。
パソコンに戻せない。	<ul style="list-style-type: none"> → 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻せません。曲を転送したパソコンへ曲を戻してください。 → 転送元のパソコンで曲を削除すると、曲を戻せません。
パソコン接続中の動作が安定しない。	<ul style="list-style-type: none"> → USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用すると、動作が安定しません。動作保証外のため、付属のUSBケーブルで直接パソコンと接続してください。

次のページにつづく ↓

その他

症状	原因 / 処置
操作時の確認音が鳴らない。	→ 「操作確認音」が「オフ」に設定されています。「操作確認音」を「オン」に設定してください(☞ 52ページ)。
本体が温かくなる。	→ 充電中または充電直後です。急速充電のため、充電中および充電直後は一時的に温かくなることがあります。また、大量の曲を転送した場合も、一時的に温かくなる場合があります。しばらく放置してください。
本体から「キーン」という音がする。または、震えることがある。	→ 内蔵ハードディスクの動作時の音または振動で、故障ではありません。
曲が切り換わるときに画面が点灯する。	→ 「曲切り換わり時表示」が「オン」に設定されています。「曲切り換わり時表示」を「オフ」に設定してください。
本機が安定しない。	→ 平らな机の上などに置いたまま操作すると、本機が安定しません。本機を手で持つ、または片方の手で押さえて操作してください。
曲を停止できない。	→ 本機では曲の停止は、一時停止になります。
充電がすぐに終わる	→ 満充電に近い場合、すぐに充電が終わります。充電が終わると  が点灯し、USBケーブルのランプが消灯します。

メッセージ一覧

エラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてください。

表示	意味	処置
オーディオ出力がラインアウトの時は音量調整を行うことができません。	「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定中に、音量を調節しようとした。	→ 「オーディオ出力」を「ヘッドホン」に設定してください。
オーディオ出力がラインアウトの時はサウンド設定を行うことができません。	「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定中に、「サウンド設定」を変更しようとした。	→ 「オーディオ出力」を「ヘッドホン」に設定してください。
曲がありません。再生画面のオプションメニューから☆評価後、対応ソフトに接続してください。	☆評価に曲が登録されていない。	→ 「☆評価」で曲の評価をしてから、SonicStageまたはCONNECT Playerに接続してください。
曲がありません。対応ソフトと接続し、曲を転送してください。	本機に曲が1曲も転送されていないときに、ホームメニューから、「インテリジェントシャッフル」、「リストサーチ」、「全曲シャッフル」、「再生画面へ」を選んで再生しようとした。	→ 本機に曲を転送してください (☞「クイックスタートガイド」)。
曲の再生中は実行できません。再生を一時停止してからもう一度実行してください。	再生中に選択できない項目を決定した。	→ 再生を一時停止し、項目を選択し直してください。
現在この機能は利用できません。利用するためには対応ソフトと接続し、情報を転送してください。	データベースに異常が発生した。	→ 曲を転送し、データベースを作り直してください。

次のページにつづく ↓

表示	意味	処置
現在この機能は利用できません。利用するためには対応ソフトや対応機器と接続し情報を転送してください。	データベースに異常が発生した。	→ 曲を転送し、データベースを作り直してください。
この曲は既に削除予定リストに登録されています。	すでに削除予定リストに登録されている曲を再度登録しようとした。	→ 削除予定リストに登録されている曲は再度登録できません。
この曲は既にブックマークに登録されています。	すでにブックマークリストに登録されている曲を再度登録しようとした。	→ 1つの曲を同じブックマークリストへ再度登録できません。
この曲はブックマークに登録されていないので解除できません。	ブックマークリストに登録されていない曲を解除しようとした。	→ ブックマークリストに登録されていない曲は解除できません。
再生可能な曲が含まれていません。曲を登録してからもう一度実行してください。	再生しようとしている項目に、曲が1曲もない。	→ SonicStageまたはCONNECT Player、ネットジュークから曲を転送してください(☞「クイックスタートガイド」)。
再生中のブックマークには登録できません。	再生対象のブックマークリスト(曲一覧でいずれかの曲に▶が付いている場合)に曲を登録しようとした。	→ ジャンルやアルバムなどから再生を始め、登録してください。
再生中のブックマークは曲の並べ替えをすることができません。	再生対象のブックマークリスト(曲一覧でいずれかの曲に▶が付いている場合)の曲順を変更しようとした。	→ 他のブックマークリスト、またはジャンルやアルバムなどから再生を始め、曲順を並び替えてください。

次のページにつづく ⇩

表示	意味	処置
再生できません。音楽ファイルが破損しています。対応ソフトと接続し、再度転送してください。	音楽データが壊れている。	→ 本機に音楽データを転送し直してください(☞「クイックスタートガイド」)。
再生できません。対応ソフトと接続し、情報を更新してください。	再生に必要な情報がない。	→ SonicStageまたはCONNECT Playerに接続してください(☞「クイックスタートガイド」)。
再生できません。××時間後に再生可能になります。(××には時間数が表示されます。)	再生期限開始前に再生しようとした。	→ 再生期限外の曲は再生できません。
再生できません。未対応の音楽ファイルです。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機で再生が許可されていない曲を再生しようとした。 • 再生回数制限付きの曲を再生しようとした。 	→ 本機で再生が許可されていない曲は再生できません。
削除予定リストに曲が登録されていません。	削除予定リストに1曲も登録されていないのに、削除予定リストを再生しようとした。	→ 削除予定リストに曲を登録してください。
時刻同期設定が“対応ソフトと同期”のときは日付時刻設定を行うことができません。	「時刻同期設定」が「対応ソフトと同期」に設定されているときに、「日付時刻設定」を設定しようとした。	→ 「時刻同期設定」を「同期しない」に設定してください。

次のページにつづく ↓

表示	意味	処置
システムエラーです。 <No. [×××] > (×××には番号が表示されます。)	システムエラーが発生した。	→ 本機をリセットしてください。 それでも繰り返しシステムエラーが起こる場合は、エラー番号をメモし、お買い上げの販売店、またはソニーサービス窓口 に修理をお申し付けください。
データベースがありません。対応ソフトと接続してください。	SonicStageまたはCONNECT Player 接続終了時に本機に曲や必要な情報がない。	→ 再度パソコンに接続し、外してください。 → 本機に音楽データを転送してください(☞「クイックスタートガイド」)。
データベースがありません。対応ソフトや対応機器と接続してください。	SonicStageまたはCONNECT Player、ネットジュークとの接続終了時に本機に曲や必要な情報がない。	→ 再度対応機器に接続し、外してください。 → 本機に音楽データを転送してください(☞「クイックスタートガイド」)。
電池残量がありません。充電してください。	電池残量がない。	→ 充電してください(☞66ページ)。
何か曲を再生してからもう一度実行してください。	何も曲を再生していないときに、LINK ボタンを押した。	→ 曲を再生し、LINK ボタンを押してください。
ハードディスクが正しく初期化されていません。各種設定からハードディスク初期化を実行してください。	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスクが正しく初期化されていない。 パソコンで初期化されている。 ハードディスク交換などで初期化していない。 	→ 「各種設定」からハードディスクを初期化し直してください(☞65ページ)。

次のページにつづく ↓

表示	意味	処置
必要な情報がありません。対応ソフトと接続し、情報を転送してください。	本機に曲が1曲も転送されていないときに、ホームメニューから、「プレイリスト」、「再生履歴」、「よく聞く100曲」を選んで再生しようとした。	→ 曲を転送した後、本機で曲を再生し、再度SonicStageまたはCONNECT Playerに接続してください(☞「クイックスタートガイド」)。
ファームウェアのアップデートに必要な電池残量がありません。充電してください。	ファームウェアの更新に必要な電池残量がない。	→ 十分に充電するか、ACアダプターに接続してから、ファームウェアを更新してください。
ブックマークに曲が登録されていません。オプションメニューから何か曲を登録してください。	1曲も登録されていないブックマークリストを再生しようとした。	→ 曲が登録されていないブックマークリストは再生できません。曲をブックマークリストに登録してください。
ホールド中です。 HOLD ボタンを押したままにしてホールドを解除してください。	HOLD ボタンがONになっているため、本機の操作ができない。	→ HOLD ボタンを押したままにし、ホールドを解除してください(☞ 8ページ)。ホールドは、本機に電源が入っている場合のみ解除できます。
ライセンスの有効期限があと××時間です。対応ソフトと接続し、ライセンス情報を更新してください。 (××には時間数が表示されます。)	サブスクリプション以外の有効期限がある曲について、有効期限が近づいている。	→ SonicStageまたはCONNECT Playerに接続し、ライセンス情報を更新してください。
AVLS(音量制限)がオンになっています。これ以上音量を上げられません。	音量がAVLSの制限値まで上がった。	→ 「AVLS(音量制限)」の設定を「オフ」にしてください(☞ 51ページ)。

次のページにつづく ↓

表示	意味	処置
Simple Mode 基本機能のみ使用できません。	データベースがSimple Modeになっている。	→ SonicStage CP (SonicStage Ver.4.0) のインテリジェント機能を有効にしてから接続するか、またはCONNECT Playerに接続してください。
100 曲以上は登録できません。	ブックマーク、または削除予定リストの登録制限数を超えた。	→ 不要な曲を、ブックマークリスト、または削除予定リストから解除し (🗑️ 42ページ)、制限数以内で登録してください。
“[XXX]” 転送したアルバムはありません。 ([XXX] には、転送回数が表示されます。)	「最近転送したアルバム」で選択した転送回に該当するアルバムがない。	

SonicStageまたはCONNECT Player をアンインストールする

インストールしたソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

SonicStageを削除する

- 1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」¹⁾をクリックする。
- 2 「プログラムの追加と削除」²⁾をダブルクリックする。
- 3 一覧から「SonicStage」を選び、「変更と削除」をクリックする。
メッセージに従ってパソコンを再起動します。
再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

- 1) Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition では「設定」→「コントロールパネル」
- 2) Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition では「アプリケーションの追加と削除」

で注意

- SonicStage をインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

次のページにつづく ↓

CONNECT Player を削除する

- 1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」¹⁾をクリックする。
- 2 「プログラムの追加と削除」²⁾をダブルクリックする。
- 3 一覧から「CONNECT Player」を選び、「変更と削除」をクリックする

メッセージに従ってパソコンを再起動します。

再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

1) Windows 2000 では「設定」→「コントロールパネル」

2) Windows 2000 では「アプリケーションの追加と削除」

ご注意

- CONNECT Player をインストールすると、「OpenMG Secure Module」もインストールされます。「OpenMG Secure Module」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

使用上のご注意

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かない。
 - － 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
 - － ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）。
 - － ホコリの多いところ。
 - － ぐらついた台の上や傾いたところ。
 - － 振動の多いところ。
 - － 風呂場など、湿気の多いところ。
- 本機にはハードディスクドライブが内蔵されています。ハードディスクは磁気に弱いため、磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたものに近づけないでください。ハードディスクが故障して、記憶しているデータが破損することがあります。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。
- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
 - － 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



- － 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れて、外から大きな力を加えない。

お手入れ

キャビネットの汚れは

- 柔らかい布（市販のめがね拭きなど）で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
- 内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

- ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

[次のページにつづく](#) ⇩

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
 - 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
 - ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

次のページにつづく ⇩

試聴用楽曲について

本製品は、店頭でお客様に実際に手にとってご試聴・ご体験頂くことを目的として、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。この楽曲データは店頭での試聴用途のためのものですので、お客様がお使いのパソコンに転送することはできません。楽曲を削除される場合は、SonicStageまたはCONNECT Player上で行って頂きますようお願いいたします。
(地域によっては試聴用楽曲データがプリインストールされていない場合があります。)

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
 - － パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
 - － パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
 - － 曲のID3タグ情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

廃棄するときのご注意

環境保護のため、内蔵の電池（充電式電池）を取り出してください。
NW-A1000シリーズをご利用の場合は 97 ページ、NW-A3000 シリーズをご利用の場合は 98 ページをご覧ください。

警告

本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジを外さないでください。

注意

- 内蔵充電式電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。
- 内部の金属部分（取り付け板など）の取り扱いには充分ご注意ください。

リチウムイオン電池の廃棄について



Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。

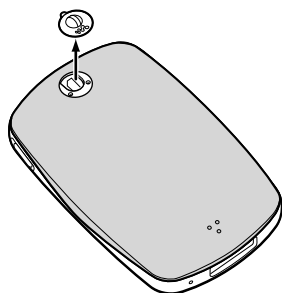
URL: <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>

次のページにつづく ↓

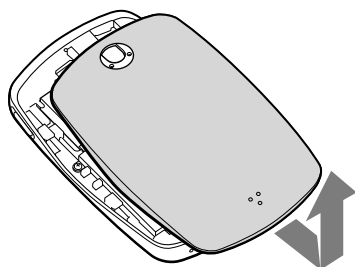
NW-A1000シリーズ内蔵の電池を取り出すときは

- 1** 本体裏面のストラップ取り付け部を取る。

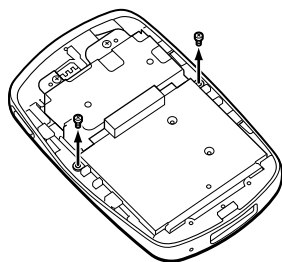
ストラップ取り付け部の側面から、ピンセットなどを使って外してください。



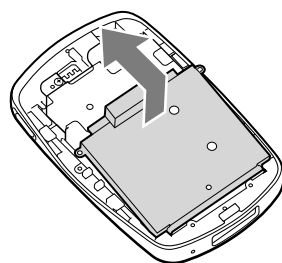
- 2** 本体裏面のプレートを手印の方向に外す。



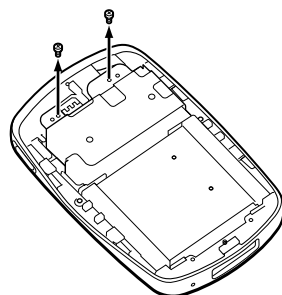
- 3** カバーの横にある2本のネジを外す。



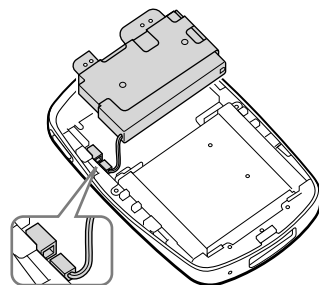
- 4** カバーを本体から手印の方向に外す。



- 5** 電池の横にある2本のネジを外す。



- 6** 本体と電池を接続しているコードを引き抜き、接続部を外して電池を取り出す。



ご注意

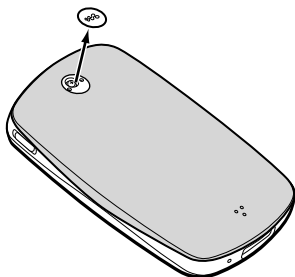
- 電池に付いている金具は、取り外さずに電池と一緒に廃棄してください。

次のページにつづく ↓

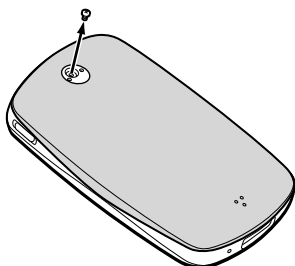
NW-A3000シリーズ内蔵の電池を取り出すときは

1 本体裏面のネジカバーを取る。

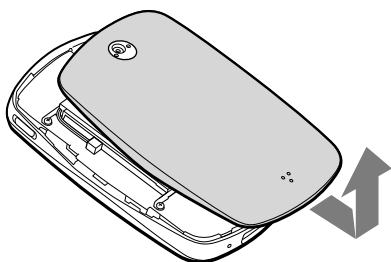
ネジカバーの側面から、ピンセットなどを使って外してください。



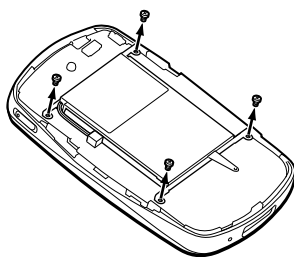
2 カバー内にあるネジを外す。



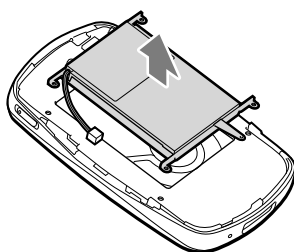
3 本体裏面のプレートを手印の方向に外す。



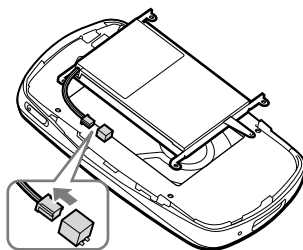
4 電池の横にある4本のネジを外す。



5 電池を本体から外す。



6 本体と電池を接続しているコードを引き抜き、接続部を外して電池を取り出す。



ご注意

- 電池に付いている金具は、取り外さずに電池と一緒に廃棄してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この操作ガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

商標について

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- CONNECT Playerおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN” ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft および Windows、Windows NT、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Adobe、Adobe Readerは Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機は Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh は Apple Computer, Inc. の商標です。
- Pentium は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.
Gracenote CDDB[®] Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. United States Patent 6,304,523. Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote.
The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、[®]マークは明記していません。

Program © 2005 Sony Corporation

Documentation © 2005 Sony Corporation

主な仕様

再生信号圧縮方式（再生できる音楽ファイル形式）

- MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)
- WMA (Windows Media Audio) *
- ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding)
- AAC (Advanced Audio Coding) **

* ファームウェアのバージョン2.00以降で対応。

** ファームウェアのバージョン3.00以降で対応。SonicStage CP (SonicStage Ver.4.0) から転送する必要があります。

ファームウェアのバージョンの確認方法は、☞ 58ページの「本体情報を表示する」をご覧ください。また、ファームウェアをアップデートする場合は、☞ 76ページの「ファームウェアをアップデートする」もご覧ください。

記録できる最大曲数と時間の目安*

* 1曲4分のATRAC形式およびMP3形式の曲を転送した場合で計算しています。他の再生できる音楽ファイル形式では、増減する可能性があります。

NW-A1000			NW-A1200	
ビットレート	曲数	時間	曲数	時間
48 kbps	4,000曲	266時間 40分	5,300曲	353時間 20分
64 kbps	3,000曲	200時間	3,900曲	260時間
96 kbps	2,000曲	133時間 20分	2,600曲	173時間 20分
128 kbps	1,500曲	100時間	1,900曲	126時間 40分
132 kbps	1,500曲	100時間	1,900曲	126時間 40分
160 kbps	1,200曲	80時間	1,500曲	100時間
192 kbps	1,000曲	66時間 40分	1,200曲	80時間
256 kbps	750曲	50時間	900曲	60時間
320 kbps	600曲	40時間	700曲	46時間 40分
352 kbps	550曲	36時間 40分	650曲	43時間 20分

NW-A3000		
ビットレート	曲数	時間
48 kbps	13,000曲	866時間 40分
64 kbps	10,000曲	666時間 40分
96 kbps	6,700曲	466時間 40分
128 kbps	5,000曲	333時間 20分
132 kbps	4,900曲	326時間 40分
160 kbps	4,000曲	266時間 40分
192 kbps	3,300曲	220時間
256 kbps	2,500曲	166時間 40分
320 kbps	2,000曲	133時間 20分
352 kbps	1,800曲	120時間

対応ビットレート

MP3: 32 ~ 320 kbps (可変ビットレート (VBR) 対応)

WMA: 48 ~ 192 kbps (可変ビットレート (VBR) 対応)

ATRAC: 48/64/66 (ATRAC3)*/96/105 (ATRAC3)*/128/132 (ATRAC3)/160/192/256/320/352**kbps

* SonicStageおよびCONNECT Playerでは、ATRAC3 66/105 kbpsのCD録音はできません。

** CONNECT Playerでは、352 kbpsのCD録音はできません。

AAC: 16 ~ 320 kbps (可変ビットレート (VBR) 対応)*

* サンプリング周波数によっては、規格外および保証外の数値も含まれます。

サンプリング周波数

MP3、WMA、ATRAC: 44.1 kHz

AAC: 11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

周波数特性*

20 Hz ~ 20,000 Hz (再生時、単信号測定)

* 電子情報技術産業協会 (JEITA) の規格による測定値です。

S/N比

ヘッドホン: 84 dB以上

LINE OUT: 94 dB以上

出力端子

⊘(ヘッドホン)/LINE OUT**: ステレオミニジャック/195 mV (10k Ω)

** ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャックです。

動作温度

5 ~ 35°C

電源

DC IN 5V 内蔵充電式電池使用

AC/パワーアダプター: DC IN 5V

電池持続時間 (連続再生時)*

	ATRAC形式 (48 kbps)	ATRAC形式 (128 kbps)	MP3形式 (128 kbps)	WMA形式 (128 kbps)	AAC形式 (128 kbps)
NW-A1000シリーズ	約20時間	約17時間	約17時間	約16時間	約12時間
NW-A3000シリーズ	約35時間	約29時間	約29時間	約28時間	約21時間

* 画面表示 15 秒の場合

本体寸法 (幅×高さ×奥行き)

NW-A1000シリーズ: 約55.0×88.1×18.7 mm (最薄部 11.5 mm)*

NW-A3000シリーズ: 約65.2×104.2×21.4 mm (最薄部 13.5 mm)*

* 最大突起部を含まず

最大外形寸法 (幅×高さ×奥行き) (JEITA**)

NW-A1000シリーズ: 約55.0×88.1×18.7 mm

NW-A3000シリーズ: 約65.2×104.2×21.4 mm

質量

NW-A1000シリーズ (本体): 約109 g (JEITA)**

NW-A3000シリーズ (本体): 約182 g (JEITA)**

** 電子情報技術産業協会 (JEITA) の測定方法に基づいています。

動作環境 (本機およびソフトウェア)

SonicStageと接続して本機をお使いの場合

- パソコン

以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です。

- Windows 98 Second Edition
- Windows Millennium Edition
- Windows 2000 Professional (Service Pack 3以降)
- Windows XP Home Edition
- Windows XP Professional
- Windows XP Media Center Edition
- Windows XP Media Center Edition 2004
- Windows XP Media Center Edition 2005

Windows 95、Windows 98 Gold Edition、Windows NT、Windows2000のその他のバージョン (Serverなど) では動作保証いたしません。

- CPU

Pentium III 450 MHz以上

- メモリ

128 MB以上

- ハードディスクドライブ

200 MB以上 (1.5 GB以上を推奨) の空き容量が必要です。

Windowsのバージョンによってはそれ以上使用場合があります。また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。

- ディスプレイの設定

画面の解像度: 800×600ピクセル以上 (1024×768ピクセル以上を推奨)

画面の色: High Color (16ビット) 以上 (256以下では正しく動作しない場合があります)

- CD-ROMドライブ

WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RWドライブが必要です。

- サウンドボード

- USBポート

- CDDDBを利用する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。

- インターネット音楽配信サービス (EMD) を利用する場合は、Internet Explorer5.5以上がインストールされている必要があります。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。

- 上記のOS以外のOS
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチブート環境
- マルチモニタ環境
- Macintosh

CONNECT Playerと接続して本機を使用する場合

- パソコン
以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です。
 - Windows 2000 Professional (Service Pack 4以降)
 - Windows XP Home Edition
 - Windows XP Professional
 - Windows XP Media Center Edition
 - Windows XP Media Center Edition 2004
 - Windows XP Media Center Edition 2005を標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です(日本語版のみ)。
- CPU
Pentium III 450 MHz以上
- メモリ
256 MB (512MB以上推奨)
- ハードディスクドライブ
200 MB以上 (1.5 GB以上を推奨)の空き容量が必要です。
Windowsのバージョンによってはそれ以上使用場合があります。また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
画面の解像度: 800×600ピクセル以上 (1024×768ピクセル以上を推奨)
画面の色: High Color (16ビット) 以上 (256以下では正しく動作しない場合があります)
- CD-ROMドライブ
WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブが必要です。さらに音楽CD/ATRAC CD/MP3 CDの作成を行うためには、CD-R/RWドライブが必要です。
- サウンドボード
- USBポート
- CDDDBを利用する場合は、インターネットへの接続環境が必要です。
- インターネット音楽配信サービス (EMD) を利用する場合は、Internet Explorer5.5以上がインストールされている必要があります。

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。

- 上記のOS以外のOS
- 自作パソコン
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチブート環境
- マルチモニタ環境
- Macintosh

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

別売りの周辺機器について

本機用の推奨アクセサリとして、下記のアクセサリをご案内いたします。

- 液晶なしリモート・コントローラー
RM-NWS1
- 漢字表示対応スティック・コントローラー
RM-MC35ELK
- 充電クレードル
BCR-NWU1
- 本革キャリングケース
CKM-NWA1000 (NW-A1000シリーズ用)
CKM-NWA3000 (NW-A3000シリーズ用)
- ソフトキャリングケース
CKS-NWA1000 (NW-A1000シリーズ用)
CKS-NWA3000 (NW-A3000シリーズ用)
- クリアキャリングケース
CKH-NWA1000(NW-A1000シリーズ用)
CKH-NWA3000(NW-A3000シリーズ用)
- ドックスピーカー
SRS-NWM10

で注意

- RM-MC35ELKの一部の機能は、本機では使えません。
ファームウェアをバージョン3.00以降にすることですべての機能が使えます。
- 各アクセサリについて詳しくは下記URLをご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/support-pa/>

索引

あ行

アーティストリンク	45
アーティストリンクシャッフル	25
アンインストール	90
イニシャルサーチ	18
インテリジェントシャッフル	23
オーディオ出力	53
音楽ファイル形式	69
音量制限	51

か行

各種設定	48
音質	48
音量制限	51
画面表示	54
輝度設定	57
操作確認音	52
表示言語	59
カスタム	49, 50
画面表示	54
カレンダー	56
曲情報	74
曲を削除する	41
曲を評価する(レイティング)	44
検索	11
アーティストから	13
新しく転送したアルバムから	17
アルバムから	12
頭文字から	18
曲の発売年から	16
曲名から	11
再生履歴から	22
ジャンルから	14
☆評価から	15
プレイリストから	19
輝度設定	57

さ行

最近転送したアルバム	17
再生画面	30
再生履歴	22
サウンド設定	49
削除予定リスト	20, 41
解除	42
全曲解除	43
ジャズ	49
シャッフル再生	23
全曲シャッフル	27
タイムマシンシャッフル	26
よく聞くシャッフル	23
充電する	66
手動で電源を切る	68
初期化	
お買い上げ時の設定	64
ハードディスク	65
シリアル番号	58
スクリーンセーバー	56
全曲シャッフル	27
総曲数	58

た行

タイムマシンシャッフル	26
電池残量	67
時計	56, 60

な行

ネットジューク	72
ノーマル	29

[次のページにつづく](#) ⇩

は行

バージョン	58
ハードディスク初期化	65
発売年	16
ビットレート	69
表示言語	59
ファームウェア	76
ブックマーク1~5	20
ブックマークリスト	34
アイコン変更	40
解除	37
曲順変更	39
全曲解除	38
登録	35
プレイモード	28, 29
プレイリスト	19, 20
再生	19
プレイリスト一覧	20
ヘビー	49
ホームメニュー	6
ポップス	49
本体情報	58

ま行

マルチコネクター	8, 66
----------	-------

や行

ユニーク	49
よく聞く100曲	20, 21
よく聞くシャッフル	23

ら行

リストサーチ	11
リピート	29

わ、を、ん

ワイドレンジ	47
--------	----

A、B、C、D

Adobe Reader	3
Artist Link	46
AVLS	51
BACKボタン	6, 8, 9
CONNECT Player	4, 80

E、F、G、H

HOLDボタン	8, 79
---------	-------

I、J、K、L

LINKボタン	8, 45
---------	-------

M、N、O、P

OPTIONボタン	8, 31
-----------	-------

Q、R、S、T

RESETボタン	8, 77
Simple Mode	72
SonicStage	4, 80

U、V、W、X、Y、Z

VOL + / - スイッチ	8
Windowsのエクスプローラ	75

数字・記号

5方向ボタン	8, 9
↶1(1曲リピート)	29
⏮1(カスタム1)	49
⏮2(カスタム2)	49
⏮J(ジャズ)	49
SHUF(シャッフル)	29
↶SHUF(シャッフルリピート)	29
☆評価	15
⏮H(ヘビー)	49
⏮P(ポップス)	49
⏮U(ユニーク)	49
↶(リピート)	29

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには ⇒ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ

(<http://www.sony.co.jp/support-pa/>)

デジタルミュージックプレーヤーに関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- 電話・FAXでのお問い合わせは ⇒ お客様ご相談センターへ
(下記電話・FAX番号)

- 本機の商品カテゴリーは [オーディオ] - [ウォークマン] です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

◆ セット本体に関するご質問時：

- 型名：本体裏面に記載
- 製造（シリアル）番号：本体裏面のラベルに記載
ホームメニューの「各種設定」-「本体情報」でも製造（シリアル）番号をご確認いただけます。
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：

質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川
6-7-35

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/> お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ☎0570-00-3311 (全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHS 03-5448-3311 (ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX 0466-31-2595 受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00